



# MS341-10001/2/3/4 フロントスポイラー

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラーをお買い上げいただきありがとうございます。  
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。  
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。  
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

## ■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-10001/3-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	C-HR '16.12~
MS341-10001/3-B0	メタリックメタリック (1K0)	
MS341-10001/3-C0	ブラックメタリック (209)	
MS341-10002/4-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

## ■ 構成部品

品名	個数	備考
フロントスポイラー	1	
タッピングスクリュー	4	5 × 16
Jナット	4	
ゴムワッシャー	4	内径8mm、外形16mm、t = 2mm
型紙	1	
PACプライマー	1	K-500
取付・取扱要領書(本書)	1	本書

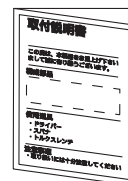
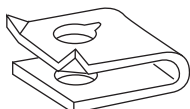
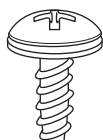
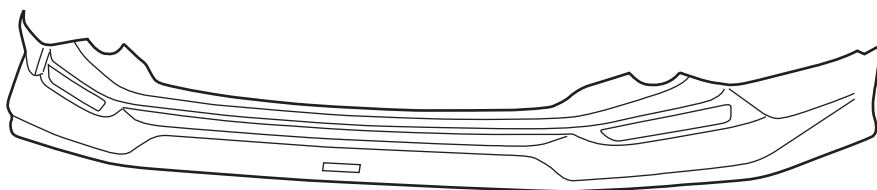
確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。  
以下、MS341-10002/4-NP(未塗装品セット)のみに同梱

品名	個数	備考
モール	(各1)	黒/グレー L = 640mm 断面形状イ型
モール	1	黒 L = 800mm 断面形状L型
エンブレム	1	
PACプライマー	1	K-500
抜きマスキングテープ AR	1	
抜きマスキングテープ AL	1	
抜きマスキングテープ BR	1	
抜きマスキングテープ BL	1	

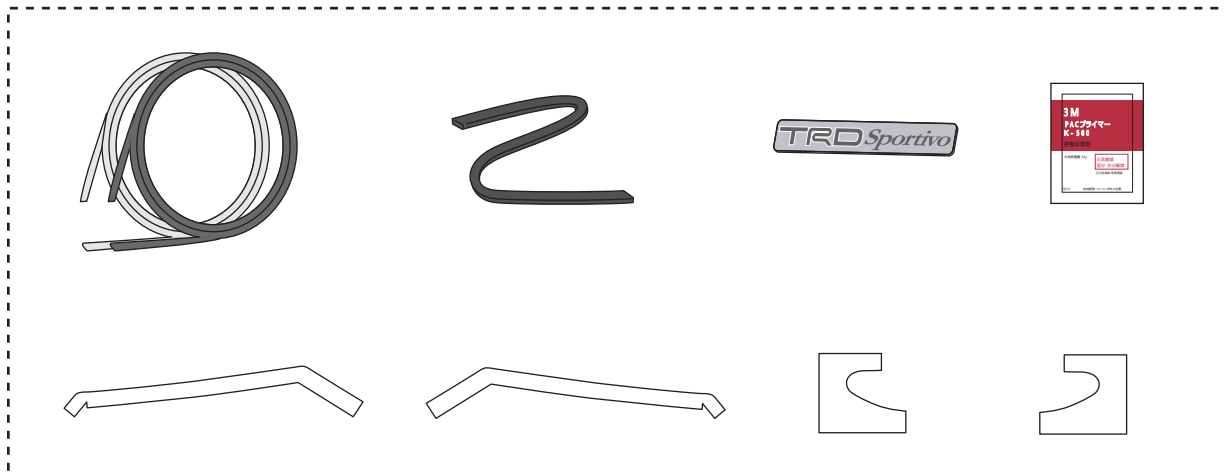
確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。  
以下、MS341-10001/2のみに同梱

品名	個数	備考
デイトムランニングランプセット	1	

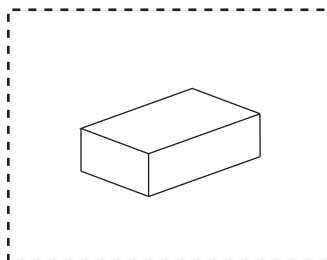
■ 構成部品図



~ は未塗装品にのみ同梱



はMS341-10001/2にのみ同梱



# 取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



## 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ❗ 必ず行なっていただくこと

## ⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

## ⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20以下低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70以下で乾燥させてください。

## 取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

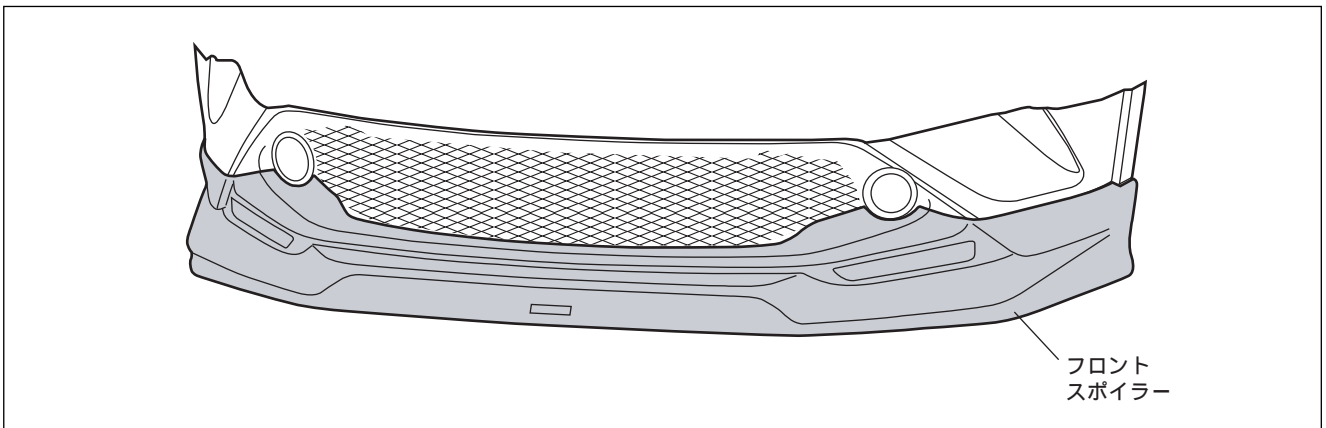
## 目次

- 1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . . 1 ~ 2
- 2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) . . . . . 3
- 3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . 4
- 4. 取付け要領 . . . . . 4 ~ 12
- 5. 取付け後の確認・点検、モール設定 推奨カラー表 . . . . . 12

## 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

## 取付構成図

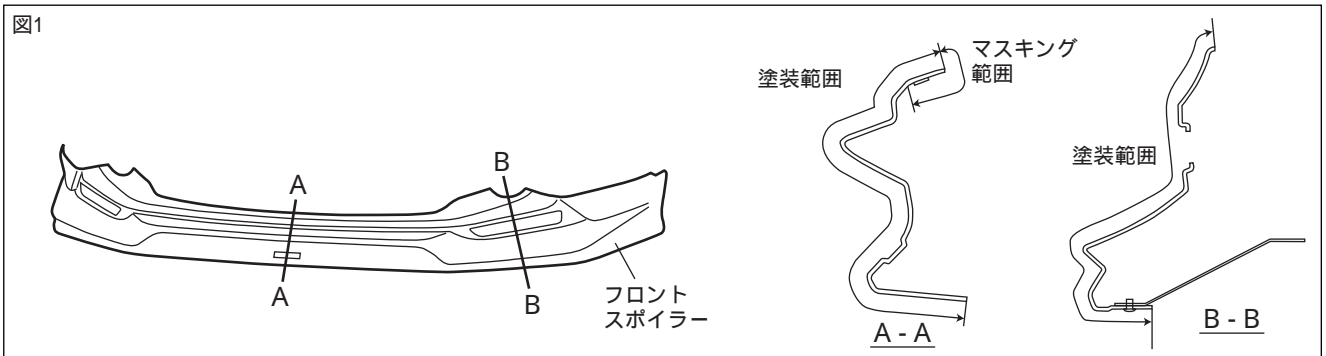


## 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS341-10002/4-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

### フロントスポイラーの塗装

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

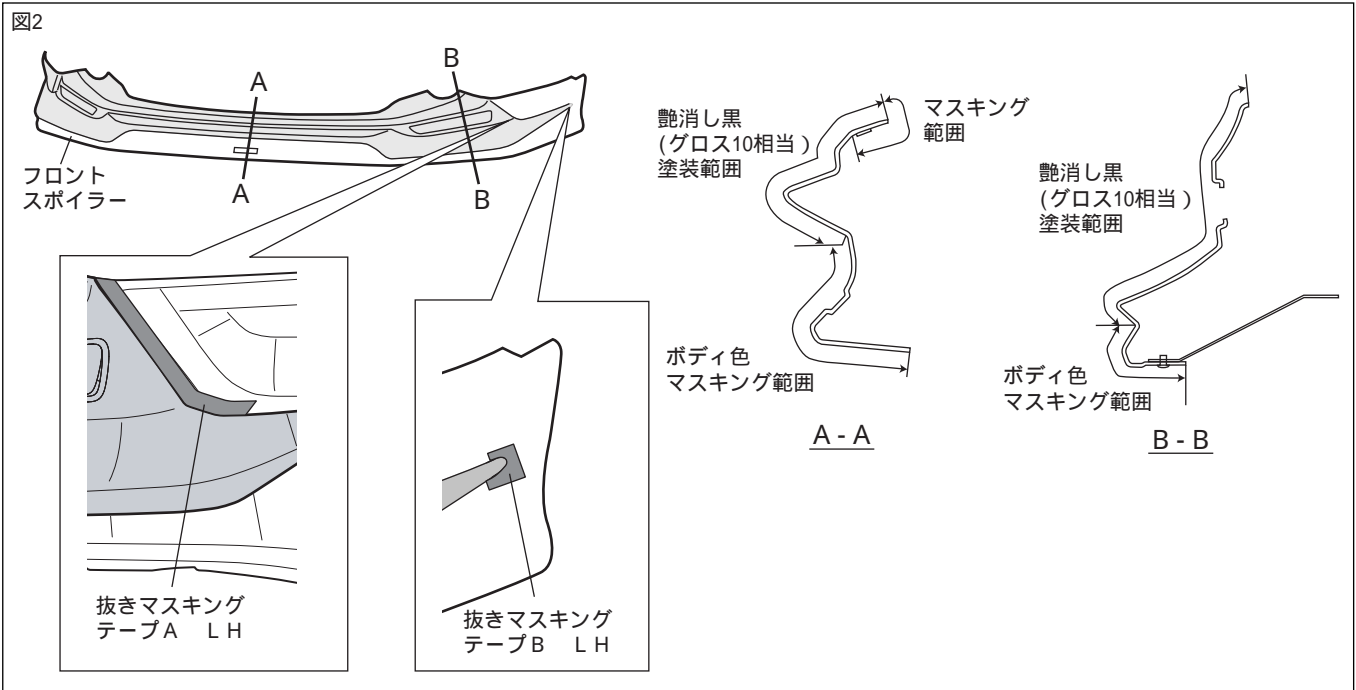


1. 図1のようにフロントスポイラー をボディ色で塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

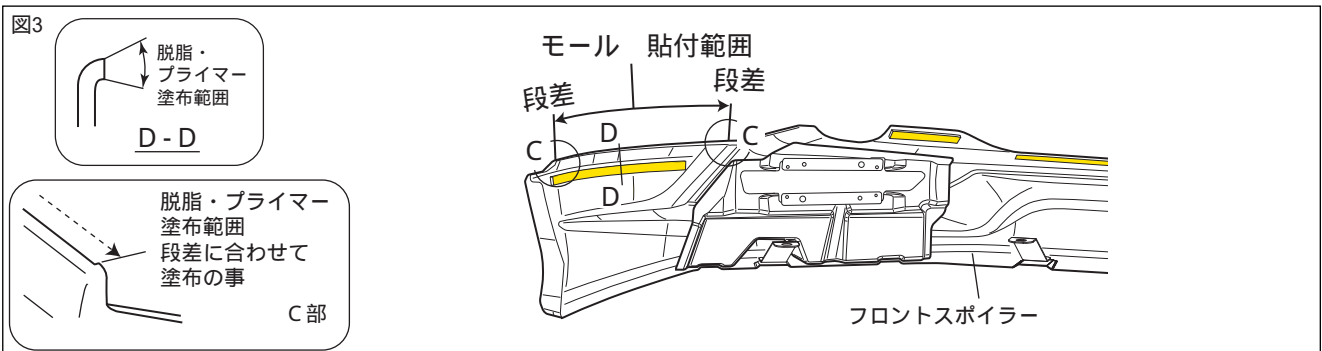
△注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。



2. 図2のようにフロントスポイラー にマスキングし、艶消し黒（グロス10相当）で塗装する。

**モールの貼付け**

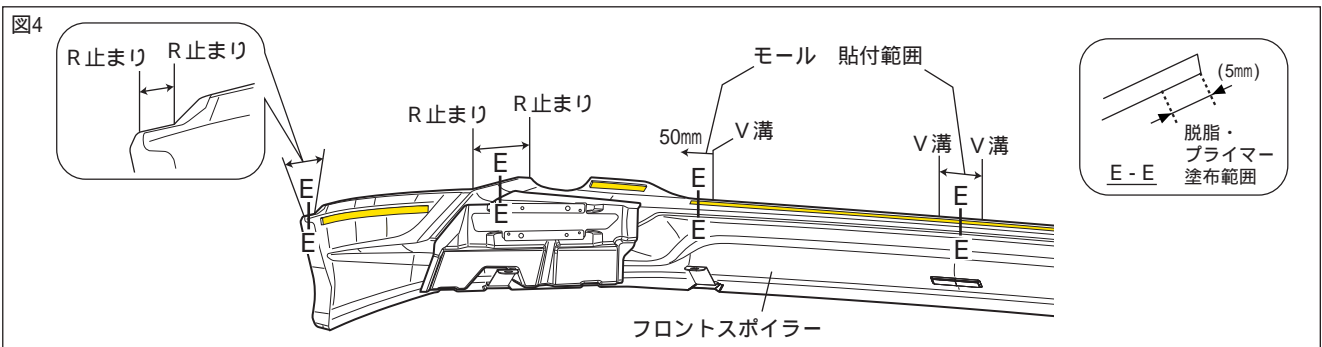
本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



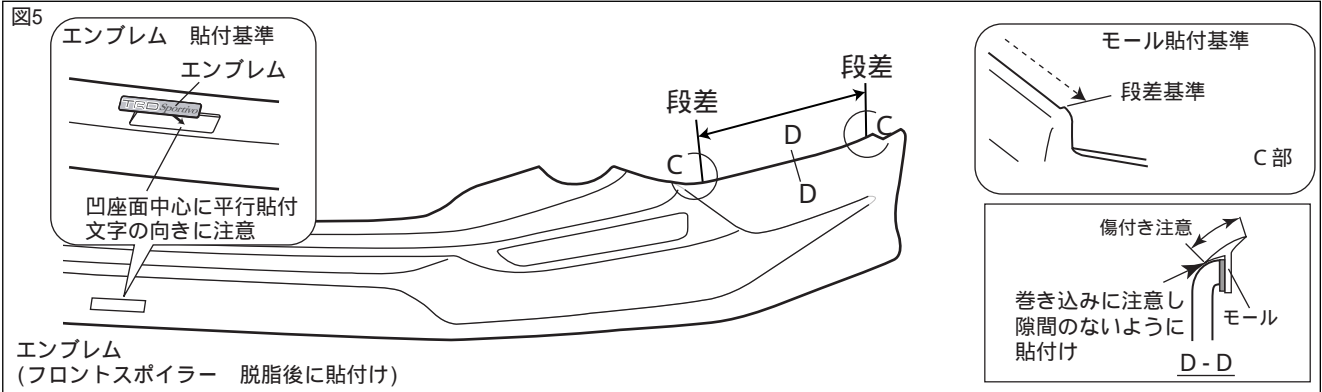
3. 図3のようにモール 貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマー を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



4. 図4のようにモール 貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマー を塗布する。

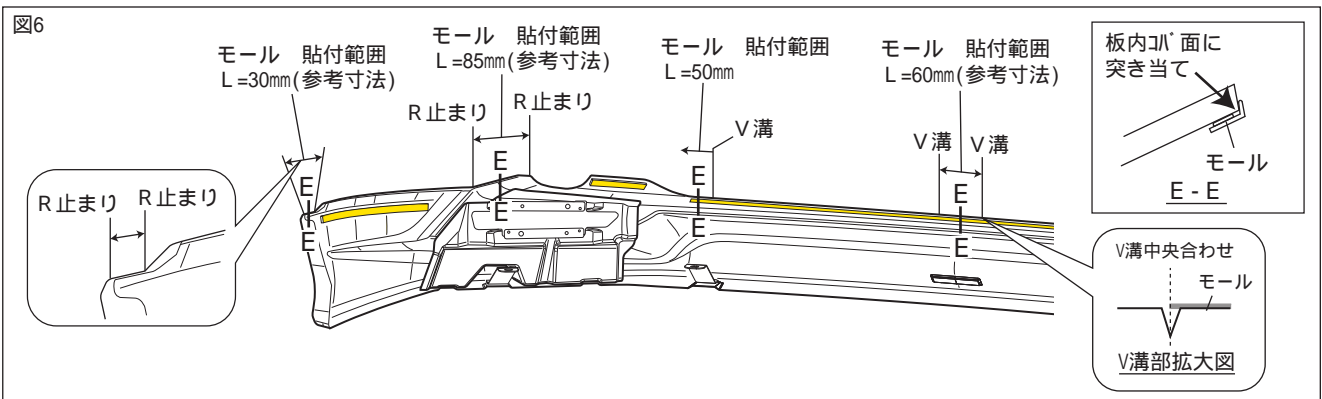


5. 図5のようにフロントスポイラー に、モール の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。  
{ 49N ( 5 k g f ) 以上 }
6. 図5のように脱脂した座面にエンブレム を貼付ける。

**アドバイス：** モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

**注意：** 両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

**注意：** モール は、二色同梱されています。巻末の推奨カラー表を参照してください。



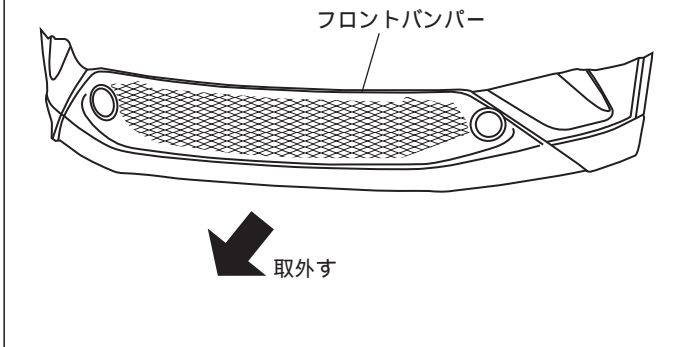
7. 図6のようにフロントスポイラー に、モール の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。  
{ 49N ( 5 k g f ) 以上 }

**アドバイス：** モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

**注意：** 両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。



図7



## 取付準備

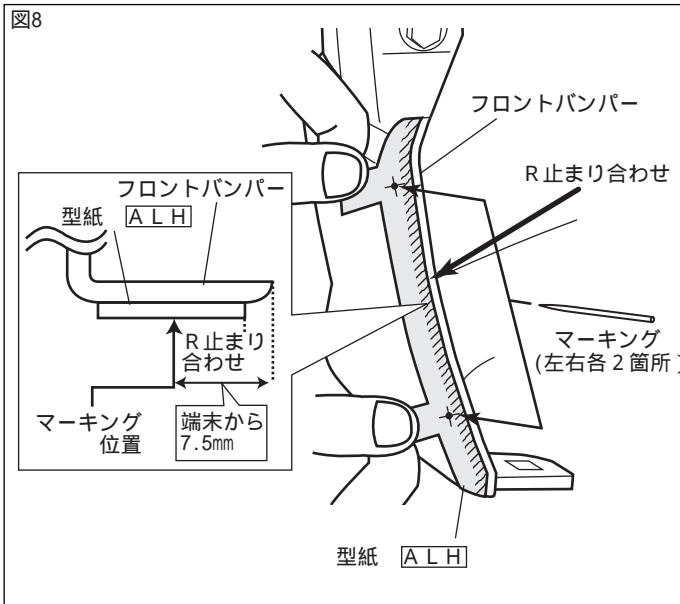
本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 該当車両の修理書に従い、車両からフロントバンパーを取外す。

△注意：取外した車両ボルトとクリップは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

△注意：バンパー取外し後の加工作業は作業台等の安定した場所で行い、部品の落下やキズ付きに十分注意してください。

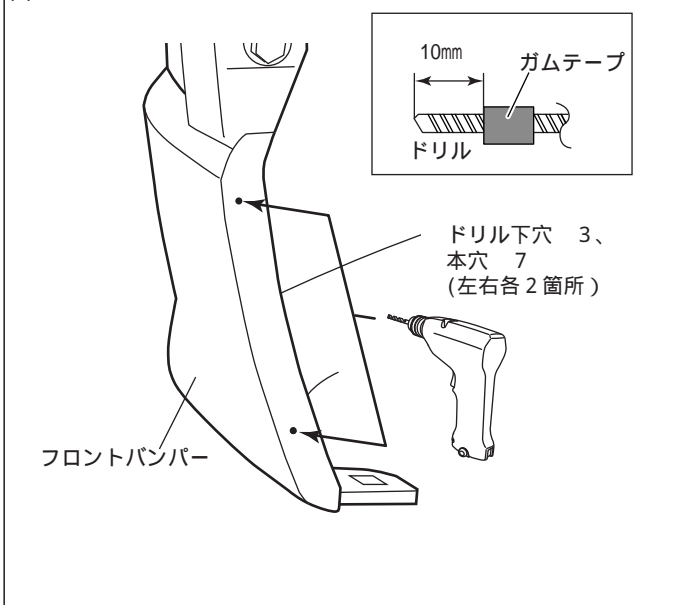
図8



2. 型紙 [ALH]、[ARH]を剥がし、図8のようにフロントバンパーのホイールハウス部に貼付けマーキングし型紙を剥がす。  
(左右各2箇所)

👉 アドバイス：フロントバンパー末端からの距離を測り、異なる場合は、マーキングをやり直してください。

図9

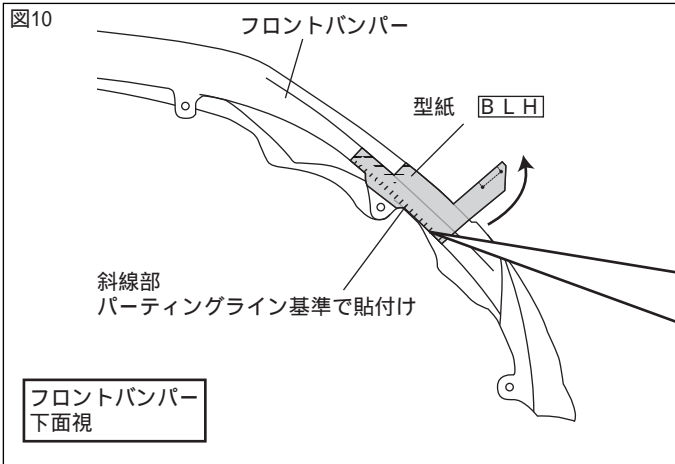


3. 図9のように 3、7のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3のドリルを使用してホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。  
(左右各2箇所)
4. 図9のように下穴に 7のドリルを使用して本穴をあけ、穴のバリを取り除く。  
(左右各2箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

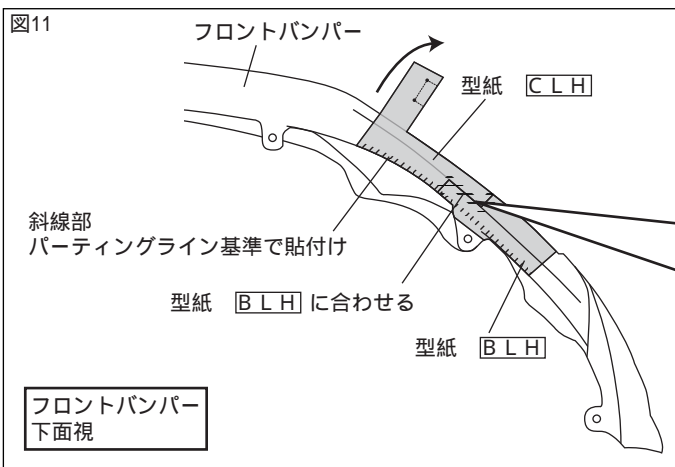
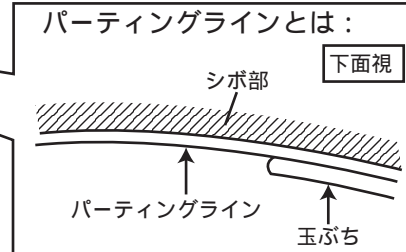
△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

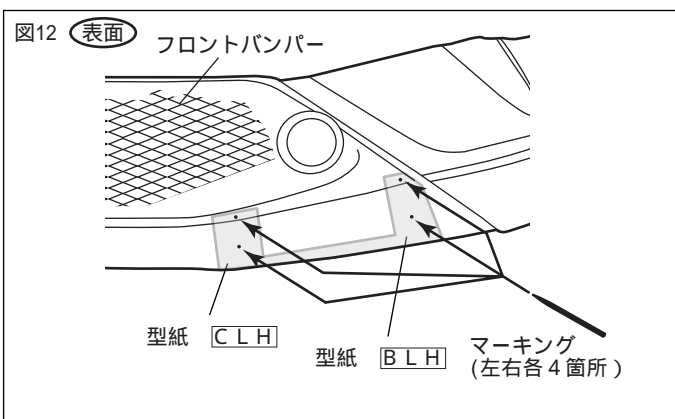
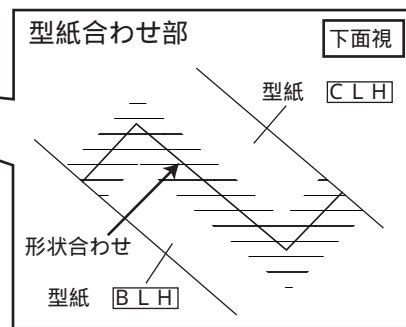


**ここから  
LED有りの場合のみ作業を行ってください。**

5. 型紙 B L H、B R Hを剥がし、図10のようにフロントバンパー下面のパーティングライン基準で貼付ける。  
(左右各1箇所)

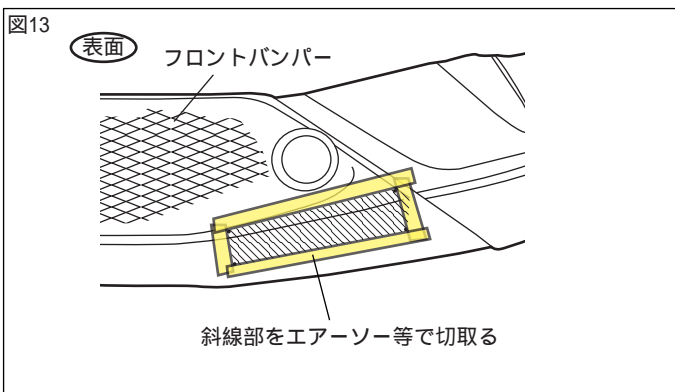


6. 型紙 C L H、C R Hを剥がし、図11のように型紙Bとパーティングラインに合わせて貼付ける。  
(左右各1箇所)



7. 型紙 B L H、B R H、C L H、C R Hの貼付け後、図12のように型紙に従ってマーキングを行い、型紙を剥がす。  
(左右各4箇所)

8. 図13のように4箇所のマーキング位置を繋ぎ、斜線部をエアソー等で切取る。



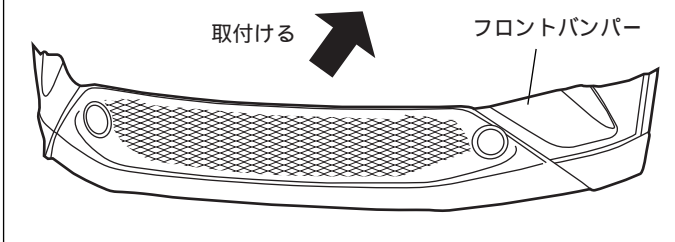
**ここまで  
LED有りの場合のみ作業を行ってください。**

- ⚠注意：加工時、車両部品の取扱いに注意し、マーキング位置からズレのないようしてください。
- ⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。
- ⚠注意：加工後、カット部のバリ、シャープエッジを取除いてください。



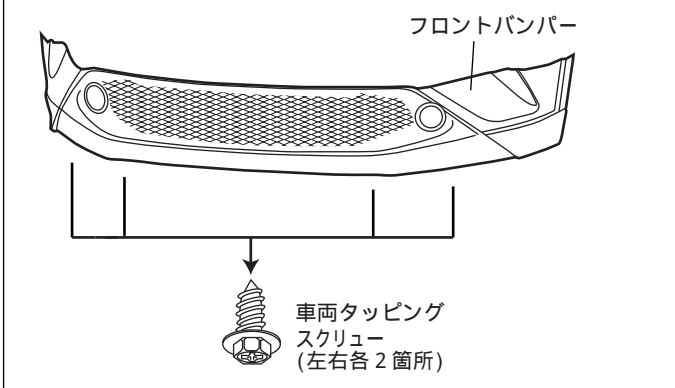
LEDランプの取付けは、デイトムランニングランプ取付要領書に従い、取付け作業を行ってください。

図14



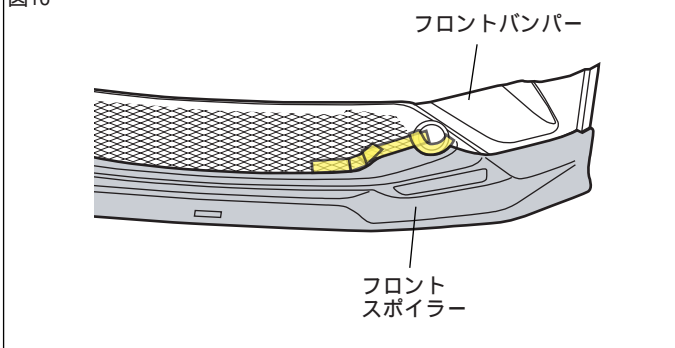
9. 該当車両の修理書に従い、車両にフロントバンパーを取付ける。

図15



10. 図15のように車両から車両タッピングスクリューを取外す。(左右各2箇所)

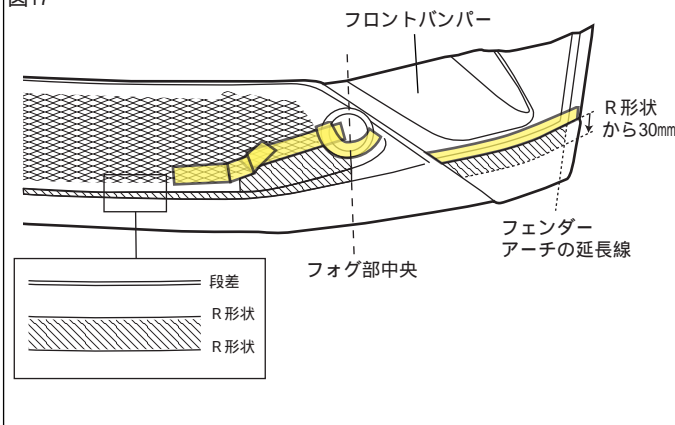
図16



11. フロントバンパーにフロントスポイラーを取付け(仮組み)、図16のようにフォグ部付近をフロントスポイラーに沿って、マスキングテープ等でマスキングをし、フロントスポイラーを取外す。

⚠ 注意：素地部品は傷つきやすいので、作業の際は十分に注意を行ってください。

図17



12. 図17のように車両シボ面の斜線部をIPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂してから、斜線部のみにPACプライマーK-500を塗布する。フォグ部のマスキングテープは取付け完了まで残す。

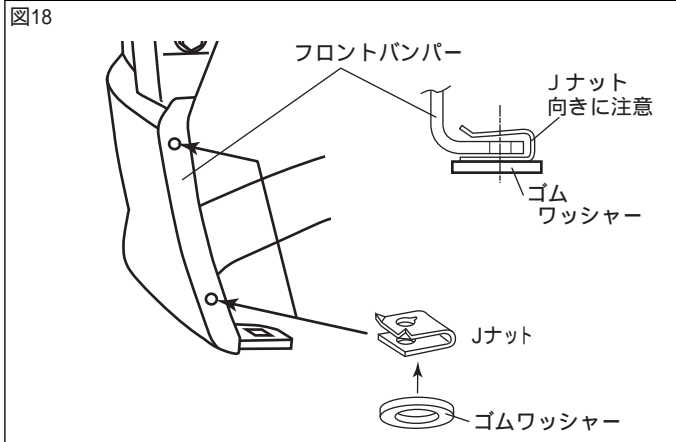
👉 アドバイス：脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

⚠ 警告：指示部以外にプライマーを付着させますと、塗装面にダメージを与える事になる為、十分注意して作業してください。

図18

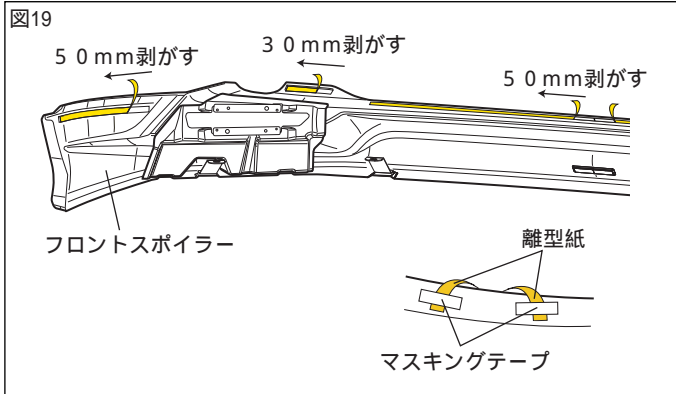


13. 図18のようにフロントバンパーホイールハウス部にJナット にゴムワッシャー を貼り付け差し込む。(左右各2箇所)

**アドバイス:** Jナット が動く場合は、マスキングテープ等で仮固定する。

**注意:** Jナット の差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリュー が取付かなくなります。

図19



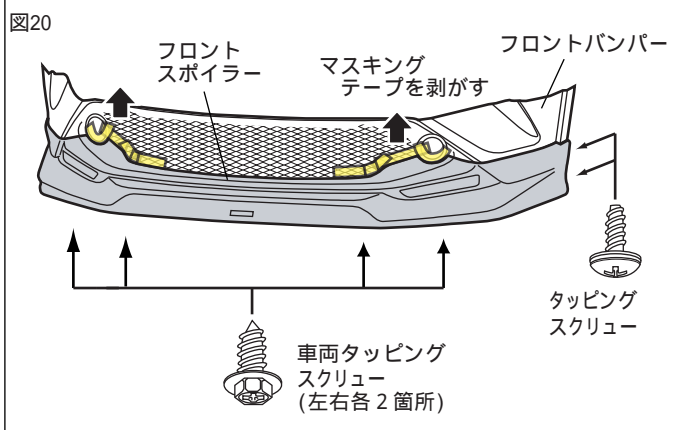
### 取付要領

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 図19のようにフロントスポイラー の離型紙を、中央から外側に約30mm, 50mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(左右各3箇所)

**注意:** 指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

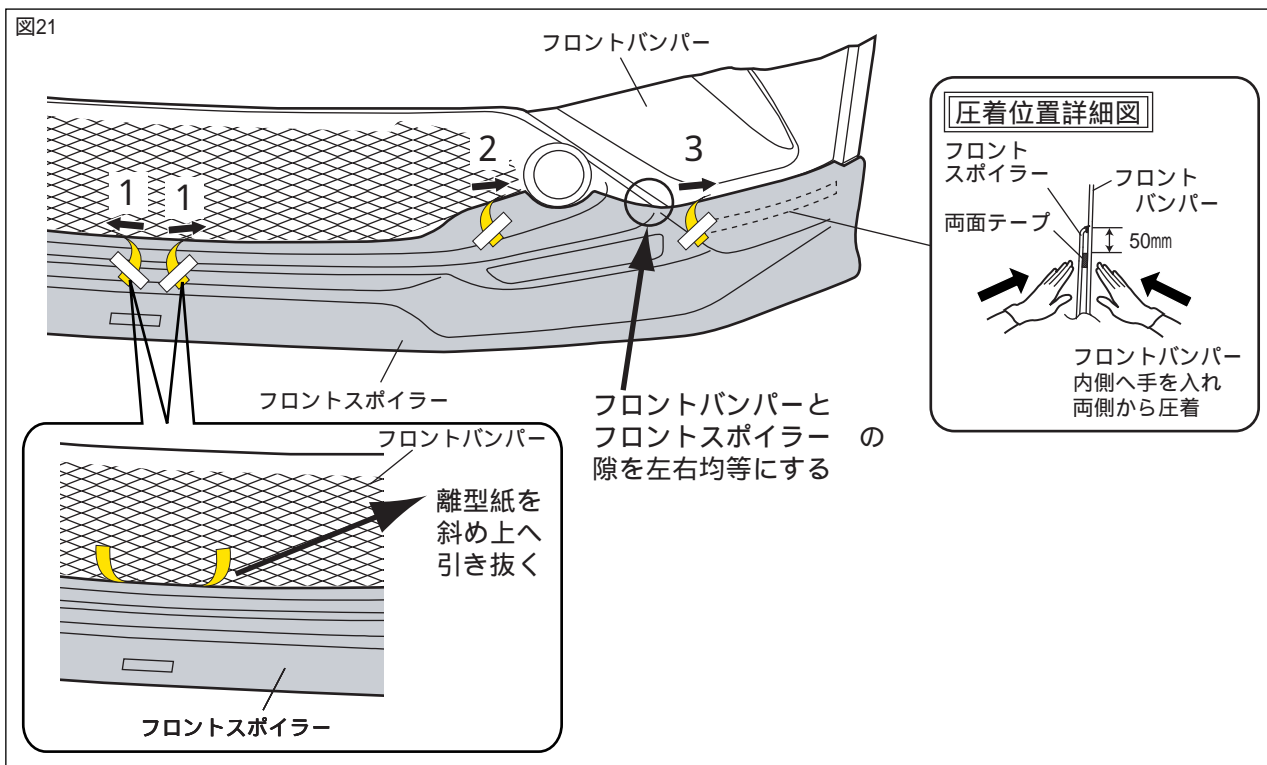
図20



2. 図20のようにフロントバンパーにフロントスポイラー を合わせ、下面を車両タッピングスクリュー (左右各2箇所)、ホイールハウス部をタッピングスクリュー (左右各2箇所)で仮締めする。フォグ部のマスキングテープを剥がす。(左右各1箇所)

**アドバイス:** 本商品の取付けは、2名以上で作業を行ってください。又、ほこりのたたない屋内で行ってください。

**注意:** フロントスポイラー を取付ける際に、フロントバンパーに傷をつけないように作業してください。



3. 図21を参考に、フロントスポイラーのセンターとロアグリルの間と、フロントスポイラーとフォグカバーの間に、左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙(左右各3箇所)を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。  
 { 49N ( 5 kg f ) 以上 }

⚠ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

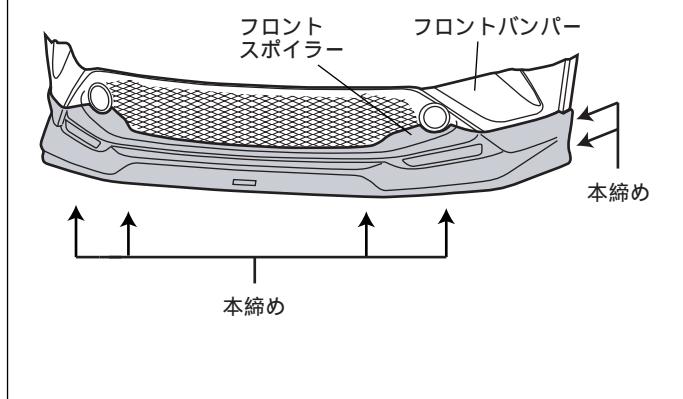
⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

👉 アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最短3時間は、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

図22



4. 図22のように2. で仮締めした車両タッピング、タッピングスクリュー を本締めする。  
(左右各4箇所)

△注意：LEDデイタイムランプ装着の場合は、下面部のスクリュー・クリップを一旦外してから配線のクランピング作業を行ってください。クランピング作業後に復元、本締めを行ってください。  
(LEDデイタイムランプ取付要領書参照)

👉アドバイス：オーバートルクでの締め付けは、タッピングスクリュー・ナットが破損する恐れがあります。

#### 取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがスクリューにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。
4. 車両のフォグランプ及びLEDデイランプの点灯点検を確認する。

#### モール設定 推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モール色
3T3	センシュアルレッドマイカ	ブラック
4U3	ダークブラウンマイカメタリック	ブラック
5A3	イエロー	グレー
6W9	ラディアントグリーンメタリック	グレー
8T7	ブルーメタリック	ブラック



# 81430-NX500 LEDデイトイムランプセット

## 取付・取扱要領書

本書は上記LEDデイトイムランプセットの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

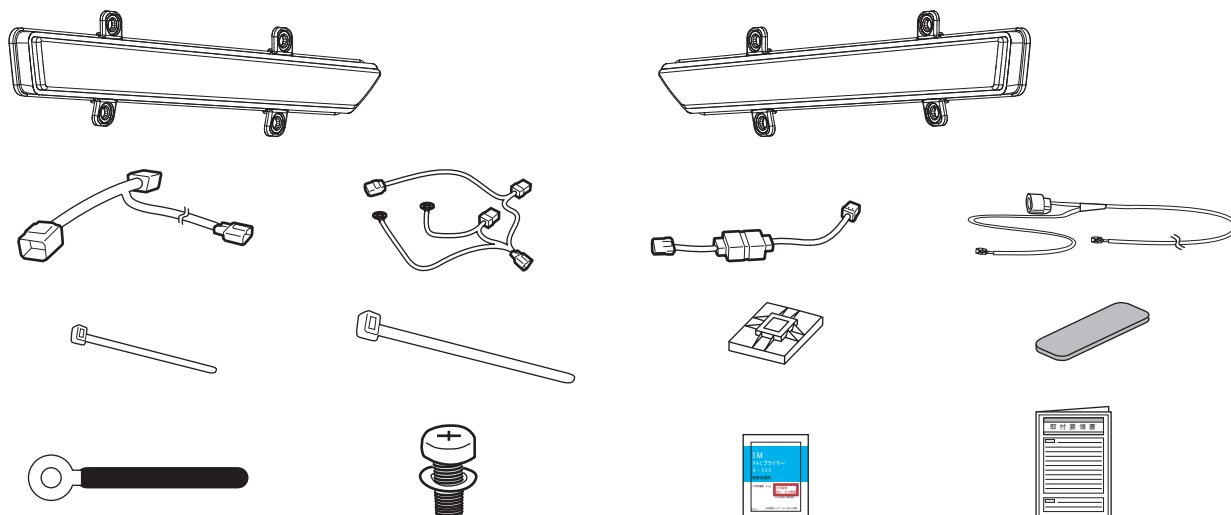
**本商品は未登録車への取付けは出来ません。必ず車両登録後に行ってください。**

### 品番・適合一覧表

品番	適合品番	備考
81430-NX500	MS341-10001/2	C-HR '16.12~

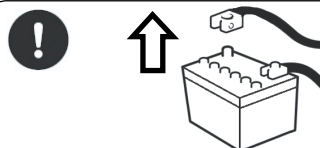
### 構成部品一覧表

品名	個数	備考
LEDランプ RH	1	
LEDランプ LH	1	
ハーネスA	1	割り込み接続ハーネス
ハーネスB	1	中間接続ハーネス
ハーネスC	1	ユニットボックス付接続ハーネス
ハーネスD	1	LED接続ハーネス
結束バンド	32	l = 150
結束バンド 大	1	l = 200
結束バンドベース	15	
クッション	6	100×50
ハーネスクランプ	3	
ボルト	8	M3×8
PACプライマー	1	
取付・取扱説明書	1	本書は大切に保管してください。



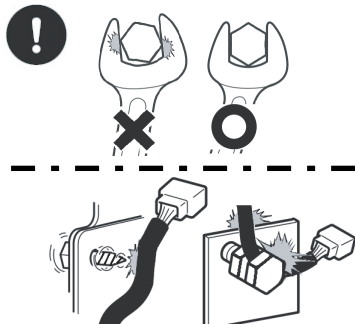
## LEDデイタイムランプ配線取付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください  
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



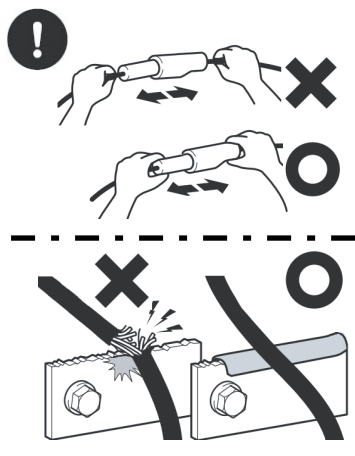
### 取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。



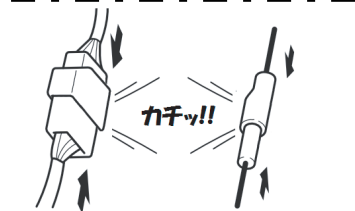
### 部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。
- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

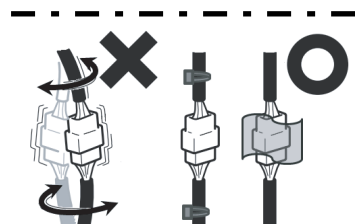


### 配線の取りまわしは

- ・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。
- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



### 配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクターが振動により異音が出ないように、確実に固定する。

### ⚠ 注意

- ❗ バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。



**目次**

1 . 表紙、品番・適合一覧表、構成部品一覧表、構成部品図 . . . . . 1  
 2 . 配線取付け上の注意事項 . . . . . 2  
 3 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . 3  
 4 . 取付け要領 . . . . . 3 ~ 15  
 5 . 取付け完了後の点検、注意事項 . . . . . 15  
 6 . 回路図 . . . . . 16

**取付けに必要な工具・保護具・消耗品**

- ・ハサミ、カッター、ニッパー、ラチェット、六角ドライバー、定規・保護テープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）、清潔なウエス

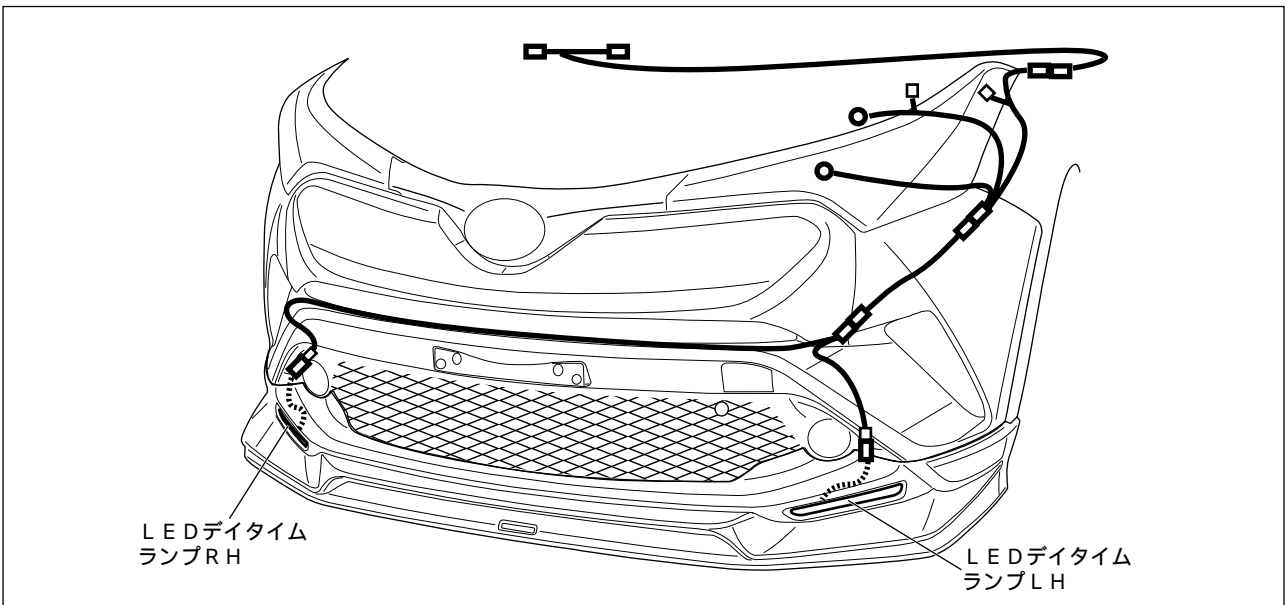
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト <<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

**取付け構成図**

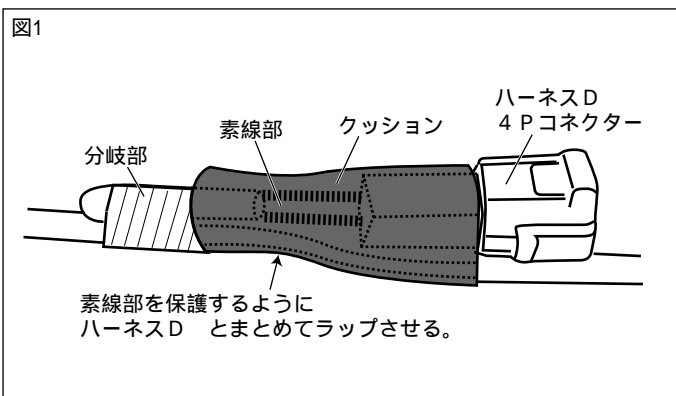


**LEDデイタイムランプセット取付けについて**

下記は、LEDデイタイムランプの取付け準備・配線作業を記載しています。  
 該当車両の修理書（トヨタ自動車株式会社発行）に従い、本書の注意事項・要領のとおり作業を行ってください。

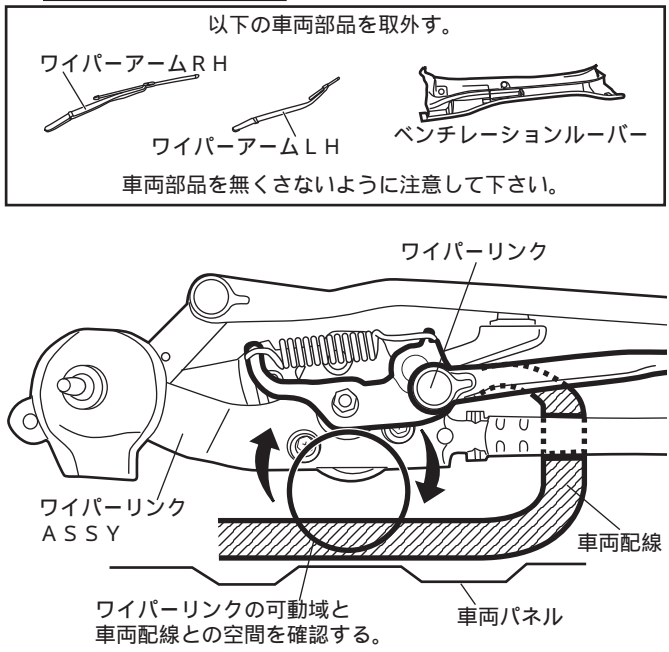
**LEDデイタイムランプの取付け**

本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しております、RH側も同様に行ってください。  
 作業は、フロントバンパー取り外し状態からの作業となります。



1. 図1のように、ハーネスD 4Pコネクタ素線部を保護するように、ハーネスD をまとめてクッション で巻き付ける。（1箇所）

図2 ワイパーASSY詳細図



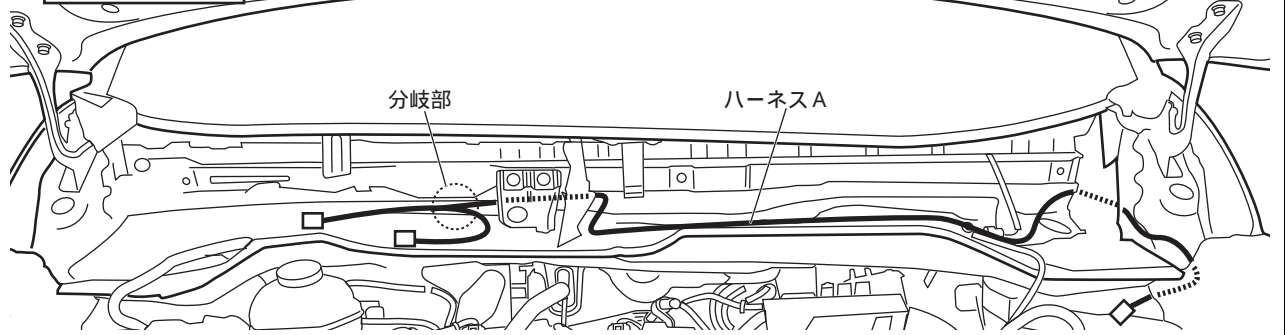
2. 車両修理書に従い、ワイパーアームRH・ワイパーアームLH、ベンチレーションルーバーを取外す。
3. 図2のように、バッテリー⊖端子を仮接続し、イグニッションONの状態にしてワイパーを作動させてワイパーリンクの可動域と車両配線との空間を確認する。
4. 仮接続した⊖端子を外し、車両修理書に従いワイパーリンクASSYを取外す。

⚠注意：取外した車両ボルトとクリップは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

⚠警告：ワイパーリンク可動域にハーネスが侵入すると、ハーネスの断線・ショート及びワイパーが機能しなくなるなど大変危険です。実際にワイパーを作動させて確認してから作業を行ってください。

### 製品ハーネスの配置・配策

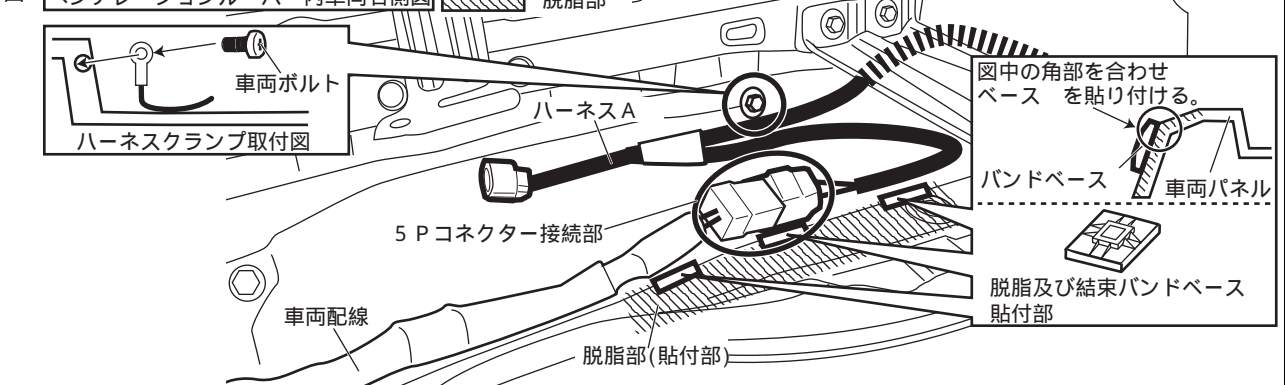
図3 ワイパー付近全体図



1. 図3のように、ハーネスA を配置する。

⚠注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

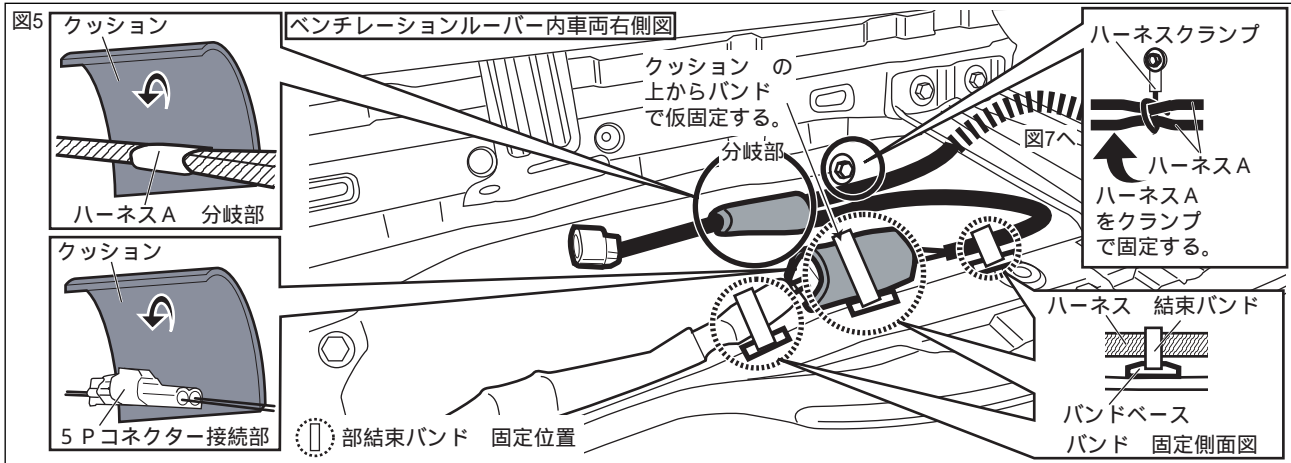
図4 ベンチレーションルーバー内車両右側図



2. 図4のように、脱脂部の汚れを取り除き、ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（以下、IPAという）で一方向に拭いて脱脂し、結束バンドベースを図中の位置で貼り付ける。（3箇所）

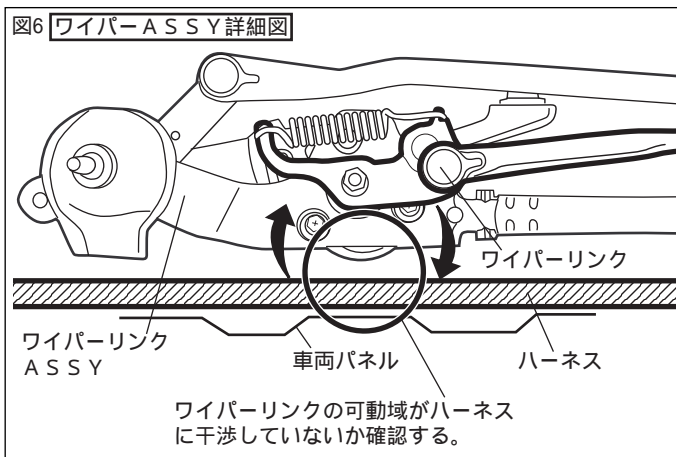
⚠注意：脱脂を行う際は、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、結束バンドベースが剥がれる原因になります。

3. 図4のように、車両ボルトを使用してハーネスクランプを取付ける。（1箇所）
4. 図4のように、ハーネスA オス5 Pコネクターとワイパーモーター用5 Pコネクターを接続する。



5. 図5のように、ハーネスA の分岐部と5 Pコネクタ接続部にクッション を巻き付ける。 (2箇所)
6. 図5のように、ハーネスA を図4の2.で貼り付けした結束バンドベース に、結束バンド を使用して仮固定する。 (3箇所)
7. 図5のように、ハーネスA を図4の3.で取付けたハーネスクランプ で巻き付け固定する。
8. 仮固定している各部の結束バンド をハーネスの張り・弛みを調整し、干渉等が無いことを確認して本締めする。 (3箇所)

△注意：結束バンドの本締めは、配線が動かない程度に締付けて、締めすぎに注意してください。  
又、結束バンドが素線部に掛からない様に注意してください。

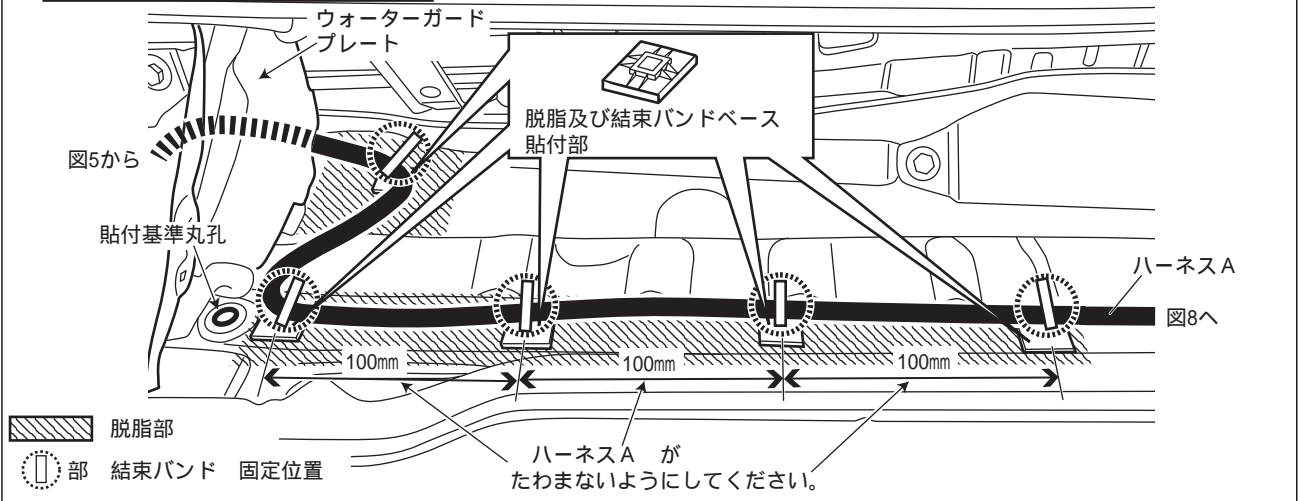


9. ハーネスA モーター側5 Pコネクタをワイパーモーターのコネクタに接続し、車両修理書に従いワイパーリンクASSYを復元する。

△注意：車両部品の復元時、配線のかみ込みに注意してください。

10. 図6のように、バッテリー⊖端子を仮接続し、イグニッションONの状態にしてワイパーを作動させてワイパーリンクの可動域がハーネスに干渉していないか確認する。
11. 仮接続した⊖端子を取外す。

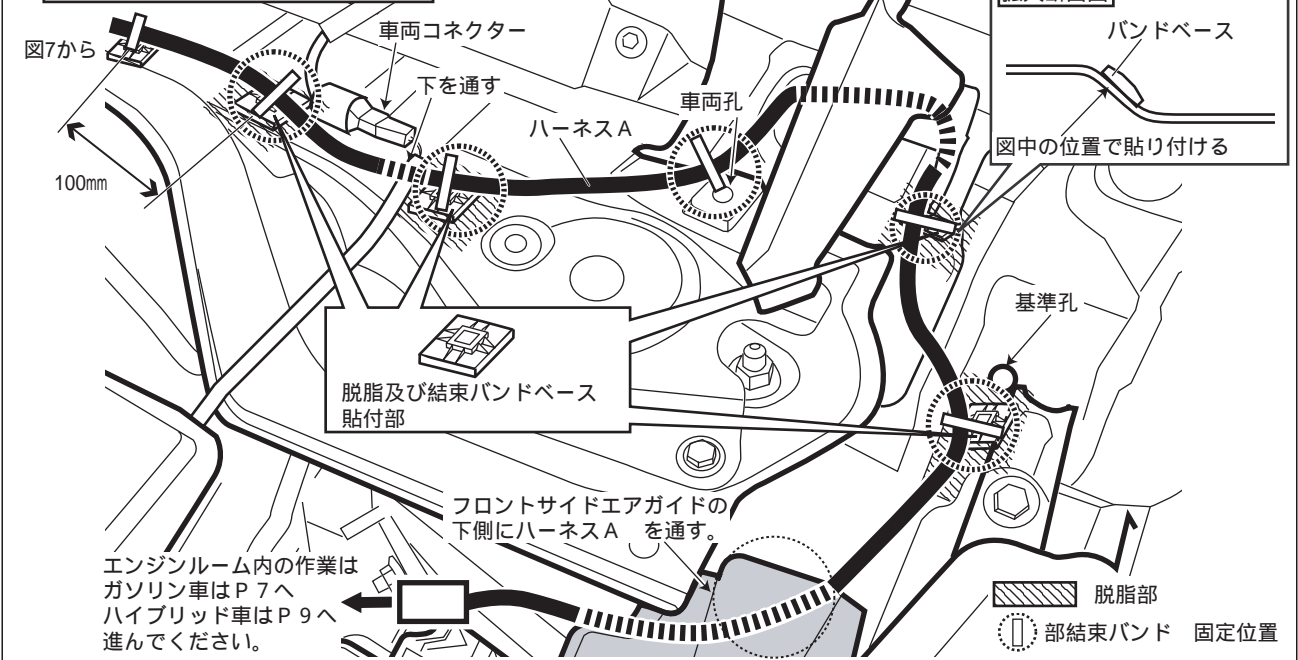
図7 ベンチレーションルーバー内車両中央図



12. 図7のように、脱脂部の汚れを取り除き、ホワイトガソリン又はIPAで一方向に拭いて脱脂する。
13. 図7のように、丸孔横とウォーターガードプレート横に結束バンドベース を貼り付ける。 (2箇所)
14. 図7のように、丸孔横に貼付した結束バンドベース を基準に、100mm間隔で結束バンドベース を貼り付ける。 (3箇所)
15. 図7のように、ハーネス A を結束バンドベース に、結束バンド を使用し仮固定する。 (5箇所)

△注意：・製品ハーネスがたわまないように注意してください。  
 ・結束バンドベースの貼付面に隙間があると、脱落の原因になりますので必ず平らな面に貼付けてください。

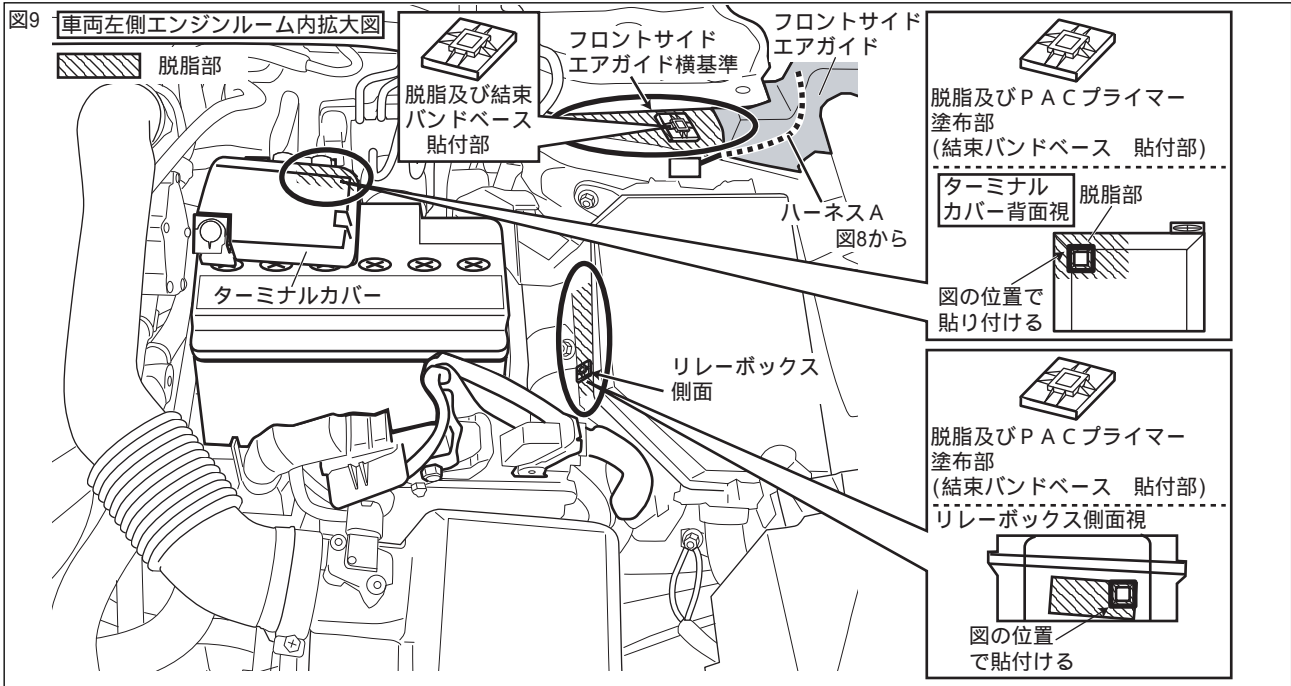
図8 ベンチレーションルーバー内車両左側図



16. 図8のように、脱脂部の汚れを取り除き、ホワイトガソリン又はIPAで一方向に拭いて脱脂し、結束バンドベース を図中の指示位置で貼り付ける。 (4箇所)
17. 図8のように、ハーネス A を結束バンド を使用し、結束バンドベース と車両孔に仮固定する。 (5箇所)

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

## ガソリン車のハーネス配策・引廻し



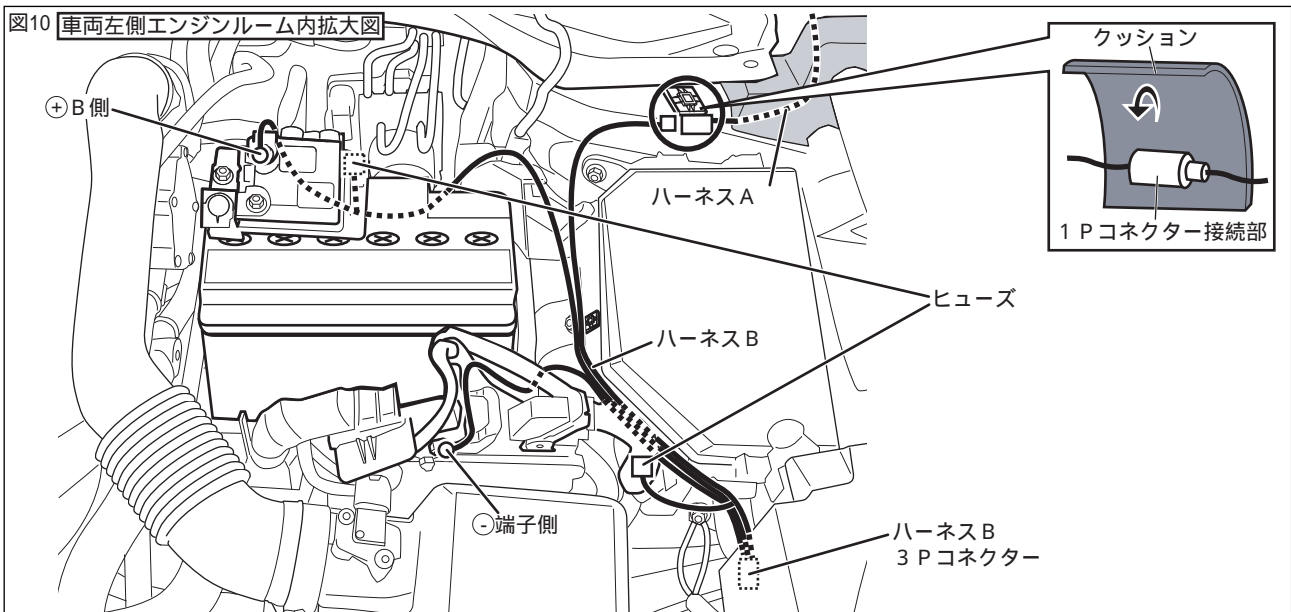
18a . 図9のように、脱脂部の汚れを取り除きホワイトガソリン又はIPAで一方向に拭いて脱脂する。(3箇所)

△注意：脱脂を行う際は、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。  
又、車両の塗装面へのプライマー塗布は絶対に行わないでください。

19a . 図9のように、PACプライマーを脱脂部に塗布する。(2箇所)

20a . 図9のように、PACプライマー塗布部と脱脂部に結束バンドベースを貼り付ける。(3箇所)

△注意：結束バンドベースの貼付面に隙間があると、脱落の原因になりますので必ず平らな面に貼り付けてください。



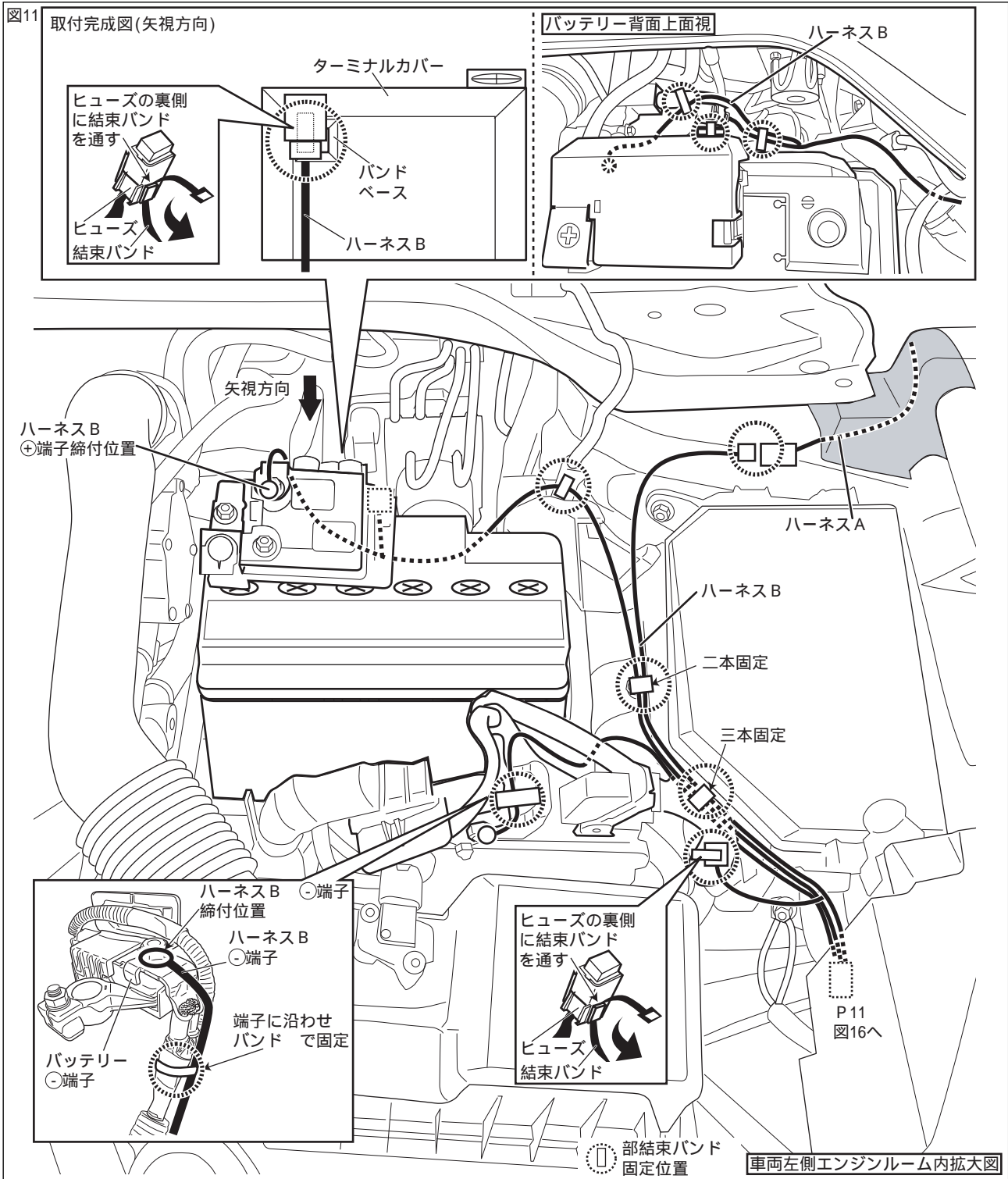
21a . 図10のように、ハーネス A 1 Pコネクタと、ハーネス B 1 Pコネクタを接続する。

22a . 図10のように、接続した1 Pコネクタをクッションで巻き付ける。

23a . 図10のように、ハーネス B を車両配線に沿ってヒューズBOXのフタが上を向くように配置する。



## ガソリン車のハーネス配策・引廻し



- 24a. 図11拡大図のように、ハーネスB ⊕端子 (M8) を車両側バッテリー⊕端子に接続して締め付ける。  
[ 8.5 N・m ]
- 25a. 図11拡大図のように、ハーネスB ⊖端子 (M8) を車両側バッテリー⊖端子に接続して締め付ける。  
[ 8.5 N・m ]
- 26a. 図11のように、ハーネスB を結束バンド を使用し車両配線に仮固定する。(5箇所)

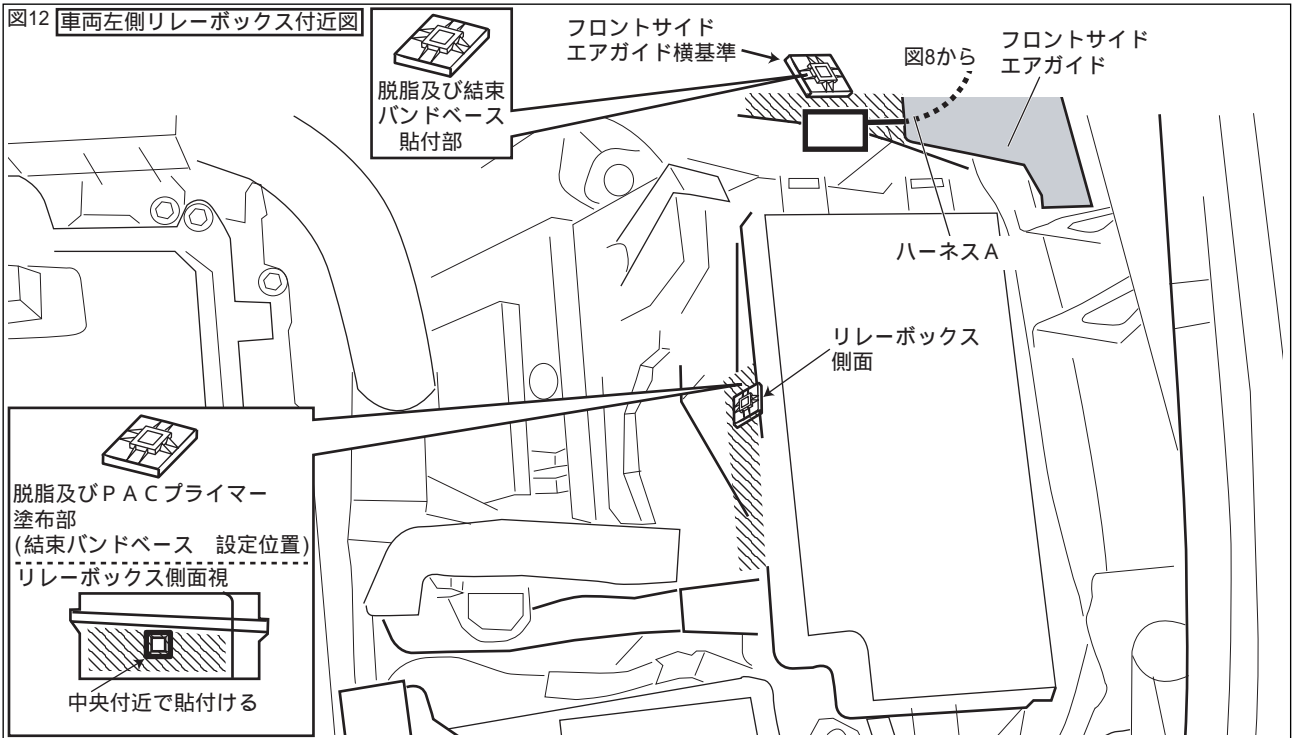
△注意：ヒューズBOXは必ずフタの位置が上向きになるように取付けてください。

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

△注意：結束バンドが素線部に掛からない様に注意してください。



## ハイブリッド車のハーネス配策・引廻し

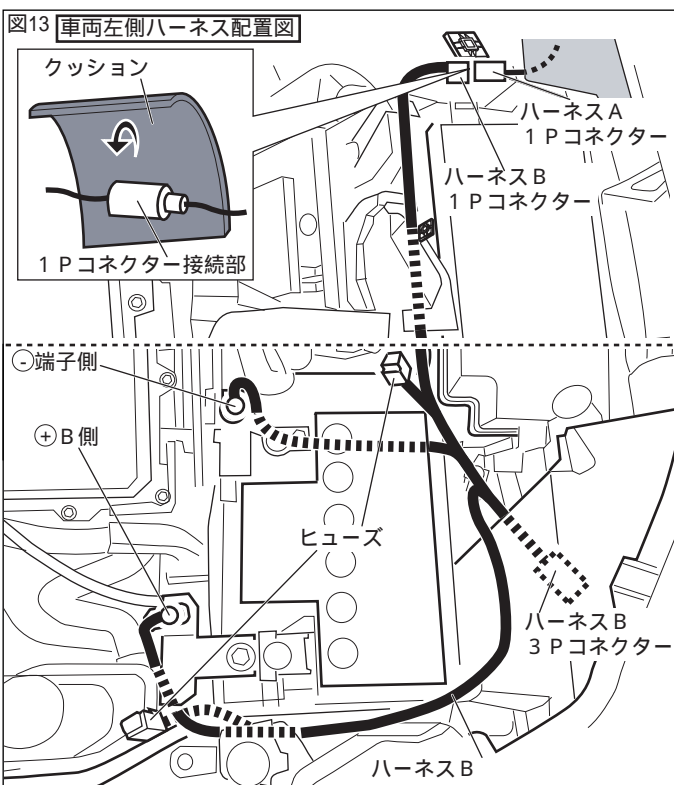


18b. 図12のように、脱脂部の汚れを取り除きホワイトガソリン又はIPAで一方向に拭いて脱脂し、PACプライマーを脱脂部に塗布する。 (1箇所)

△注意：脱脂を行う際は、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

19b. 図12のように、PACプライマー塗布部と脱脂部に結束バンドベースを貼り付ける。 (2箇所)

△注意：結束バンドベースの貼付面に隙間があると、脱落の原因になりますので必ず平らな面に貼り付けてください。

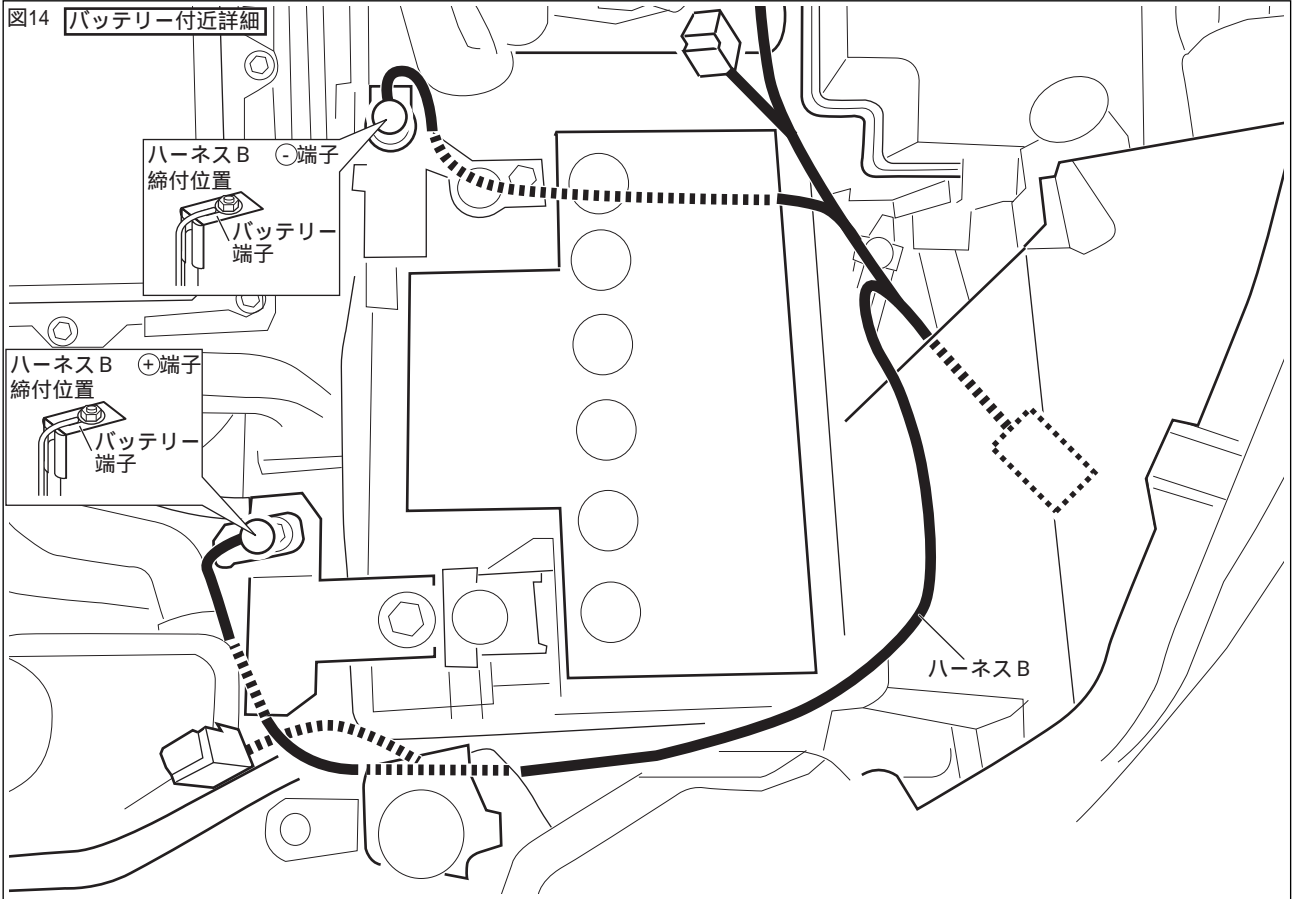


20b. 図13のように、ハーネスA 1Pコネクタと、ハーネスB 1Pコネクタを接続する。

21b. 図13のように、接続した1Pコネクタをクッションで巻き付ける。

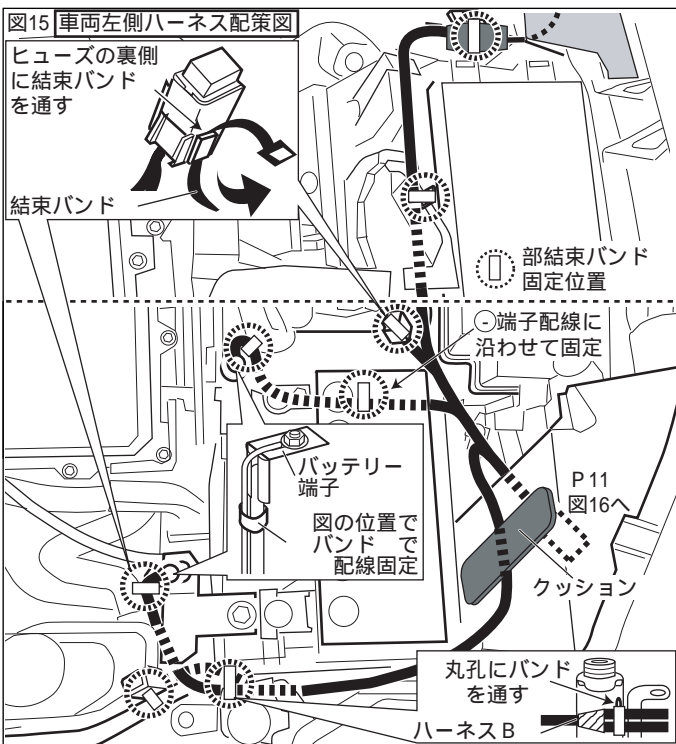
22b. 図13のように、ハーネスBを車両配線に沿ってヒューズBOXのフタが上を向くように配置する。

## ハイブリッド車のハーネス配策・引廻し



23b. 図14のように、ハーネスB ⊕端子 (M8) を車両側バッテリー⊕端子に接続して締付する。  
[ 8 . 5 N・m ]

24b. 図14のように、ハーネスB ⊖端子 (M8) を車両側バッテリー⊖端子に接続して締付する。  
[ 8 . 5 N・m ]



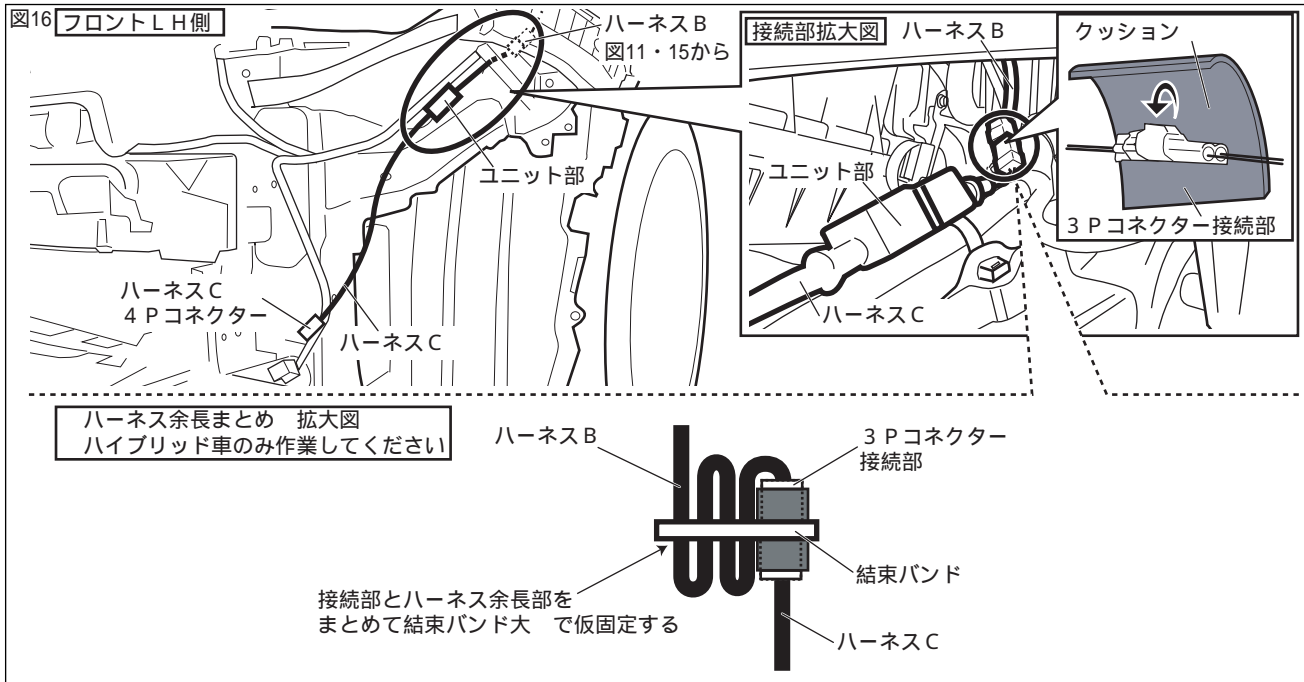
25b. 図15のように、ハーネスB を結束バンドを使用し車両配線に仮固定する。  
( 8箇所)

△注意：ヒューズBOXは必ずフタの位置が上向きになるように取付けてください。

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

△注意：結束バンドが素線部に掛からない様に注意してください。

26b. 図15のように、ハーネスB をヘッドランプにクッションで固定する。  
( 1箇所)



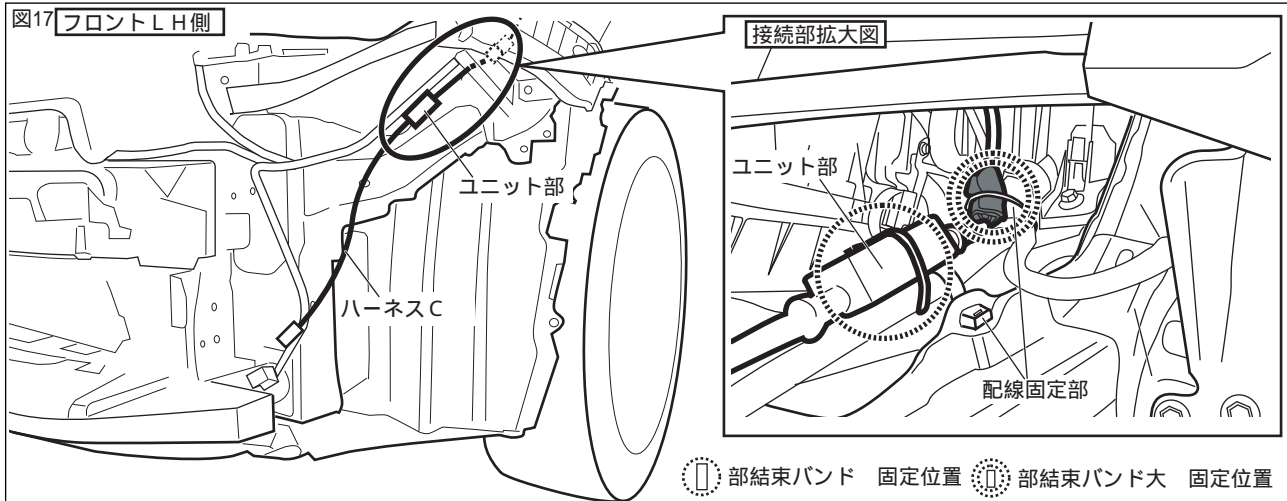
27. 図16のように、車両配線に沿ってハーネスC を配置する。

28. 図16のように、ハーネスB 3PコネクタとハーネスC 3Pコネクタを接続する。

29. 図16のように、接続した3Pコネクタをクッション で巻き付ける。

(1箇所)

△注意：ハイブリッド車のみ、この段階で結束バンド大で3Pコネクタ-接続部と製品ハーネスの余長をまとめて固定して下さい。



30. 図17のように、ハーネスC を結束バンド ・結束バンド 大を使用し車両配線に沿って車両配線固定部に仮固定する。  
(各1箇所)

31. 仮固定している各部の結束バンド ・結束バンド 大をハーネスの張り・弛みを調整し、干渉等が無いことを確認して本締めする。  
(ガソリン車2箇所)(ハイブリッド車20箇所)



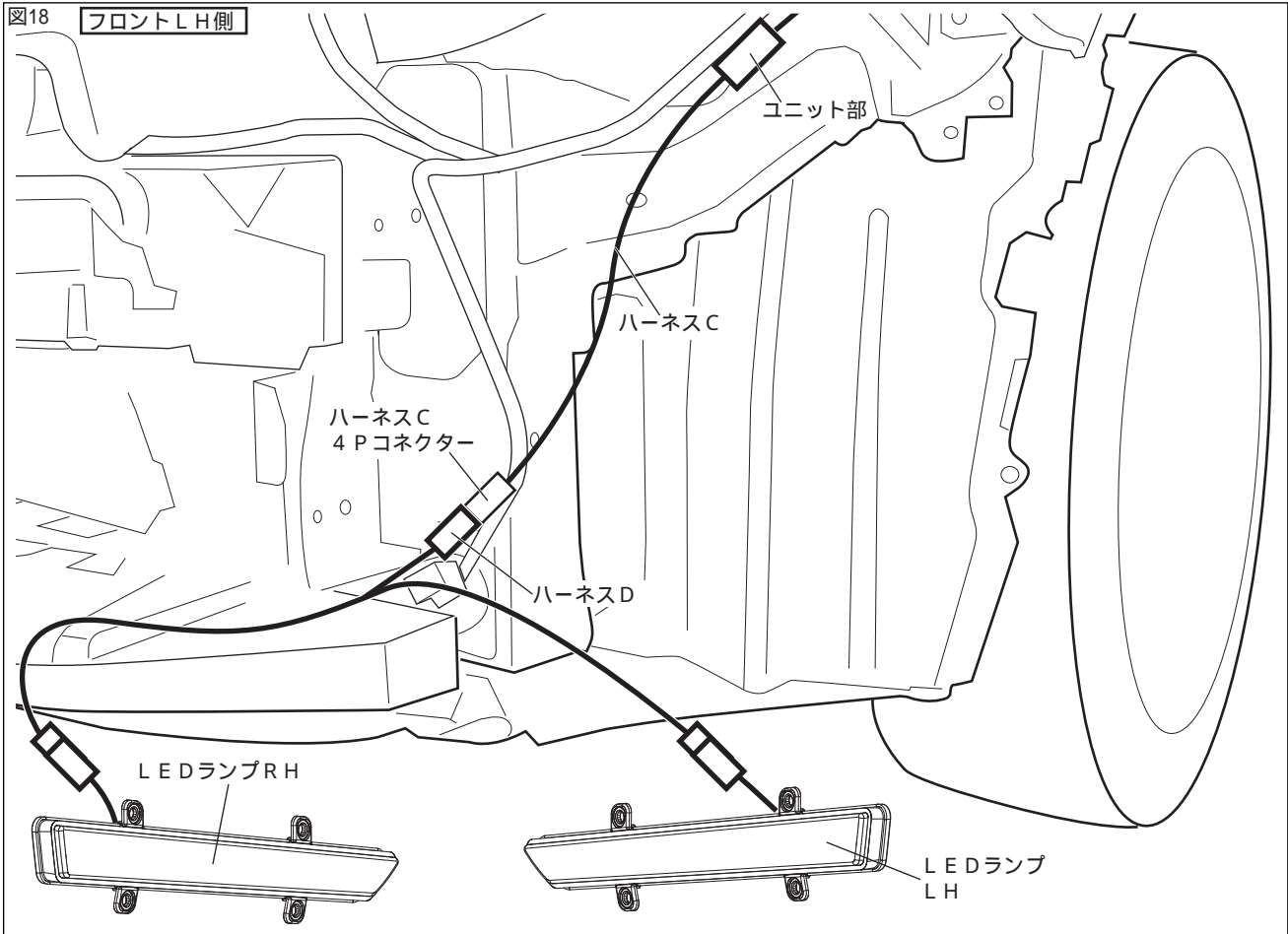
アドバイス：エンジンルーム内の作業で、各車で以下の部品が余ります。

- ・ガソリン車： クッションテープ1枚
- ・ハイブリッド車： 結束バンド 1本、結束バンドベース1個

△注意：・製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。  
・結束バンドが素線部に掛からない様に注意してください。  
・結束バンドの本締めは、配線が動かない程度に締付けて、締めすぎに注意してください。

## 点灯確認

図18 フロントLH側



1. 図18のように、ハーネスC にハーネスD とLEDランプRH ・ LH を接続する。
2. バッテリー⊖端子を仮接続し、イグニッションONの状態にして、LEDランプが正常に点灯することを確認する。
3. 仮接続した⊖端子とハーネスD 、LEDランプRH ・ LH を取外す。

## バンパー内配線の取廻し

図19 フォグランプ有り車

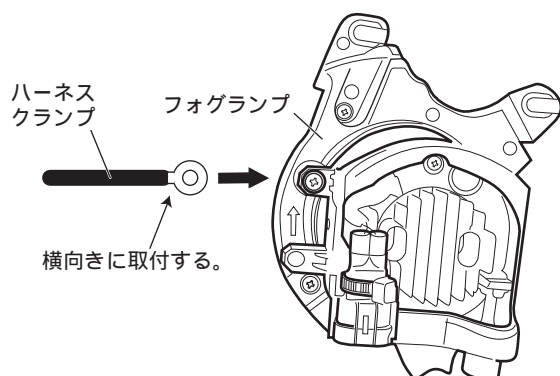
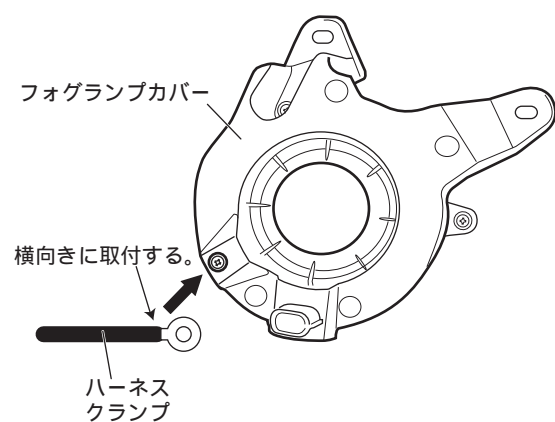


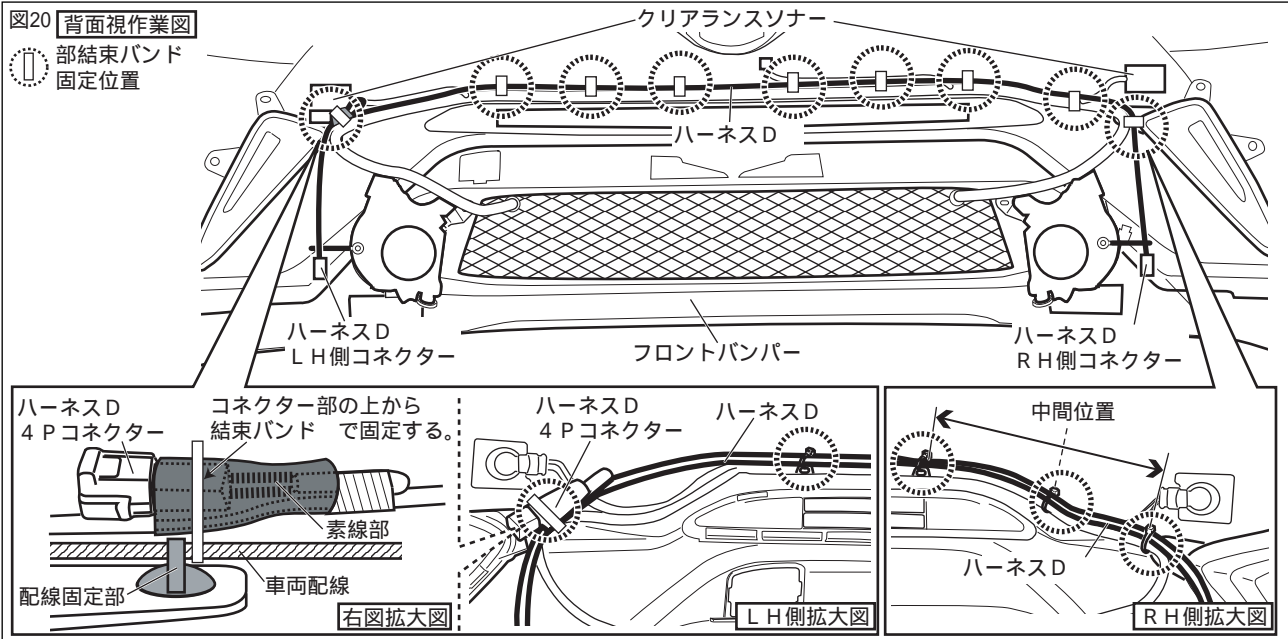
図19 フォグランプ無し車



1. 図19のように、ハーネスクランプ を図中の位置のビスを使用し、バンパーに共締めする。 (1箇所)
2. RH側も同様の作業を行う。



## クリアランスソナー有り車（無し車は図21へ）



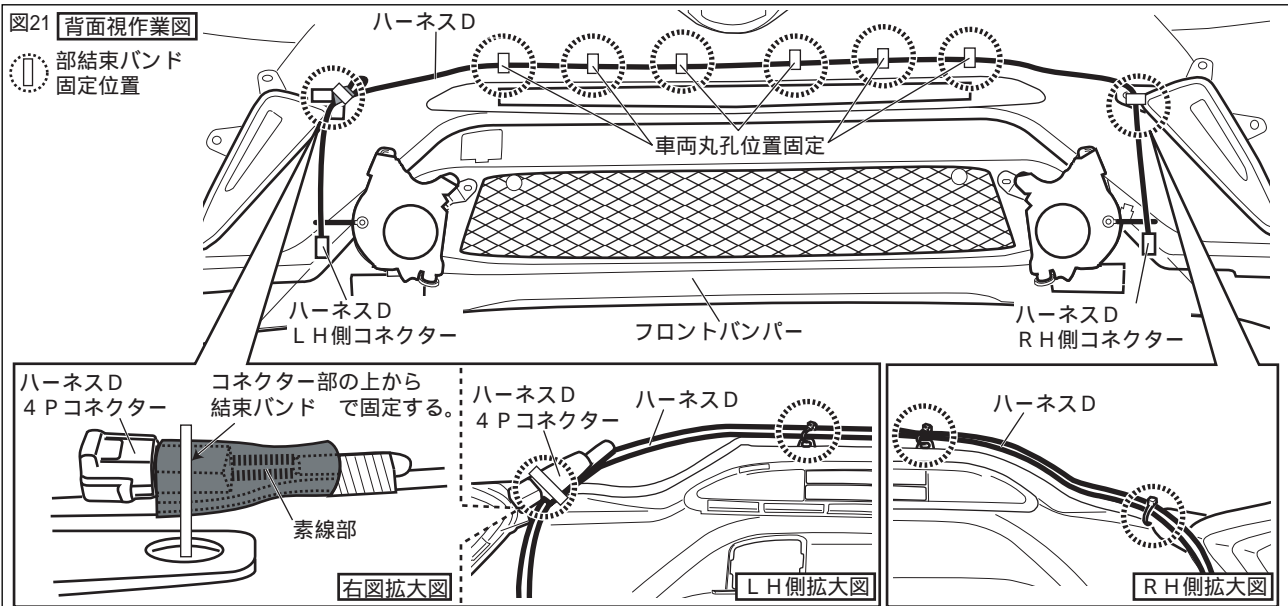
3a. 図20のように、車両配線に沿ってハーネスD を配置する。

4a. 図20のように、ハーネスD を結束バンド を使用して配線固定部に仮固定する。（9箇所）

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。  
又、結束バンドが素線部に掛からない様に注意してください。

## ここまでクリアランスソナー有り車の作業

## クリアランスソナー無し車（有り車は図20へ）



3b. 図21のように、ハーネスD を配置する。

4b. 図21のように、ハーネスD を結束バンド を使用して車両丸孔に仮固定する。（8箇所）

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。  
又、結束バンドが素線部に掛からない様に注意してください。

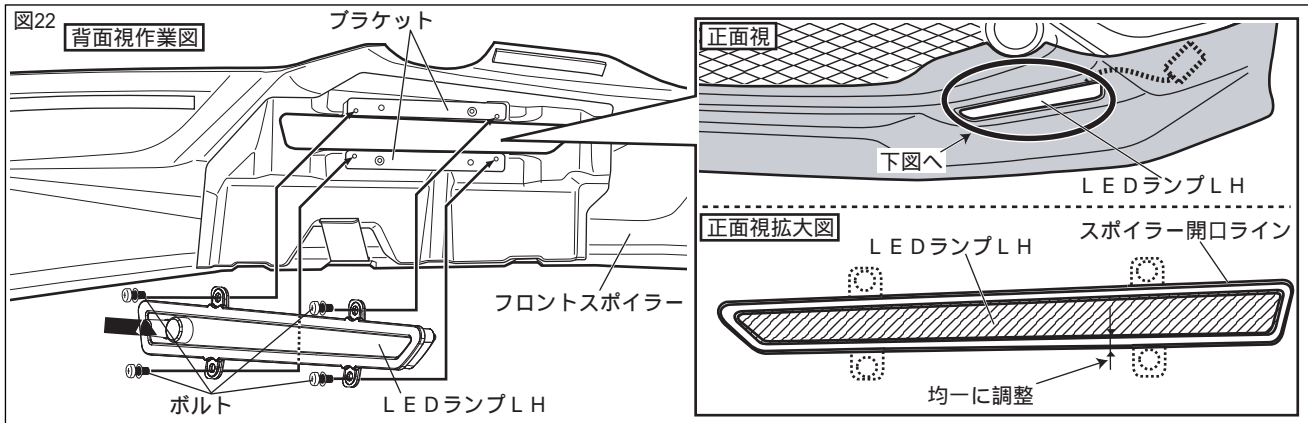
👉アドバイス：バンパー内作業で、無し車のみ結束バンド が1本余ります。

## ここまでクリアランスソナー無し車の作業

5. 仮固定している各部を結束バンド をハーネスの張り・弛みを調整し干渉等が無いことを確認して本締め（クリソナ有り車9箇所）（クリソナ無し車8箇所）する。

△注意：結束バンドの本締めは、配線が動かない程度に締付けて、締めすぎに注意してください。

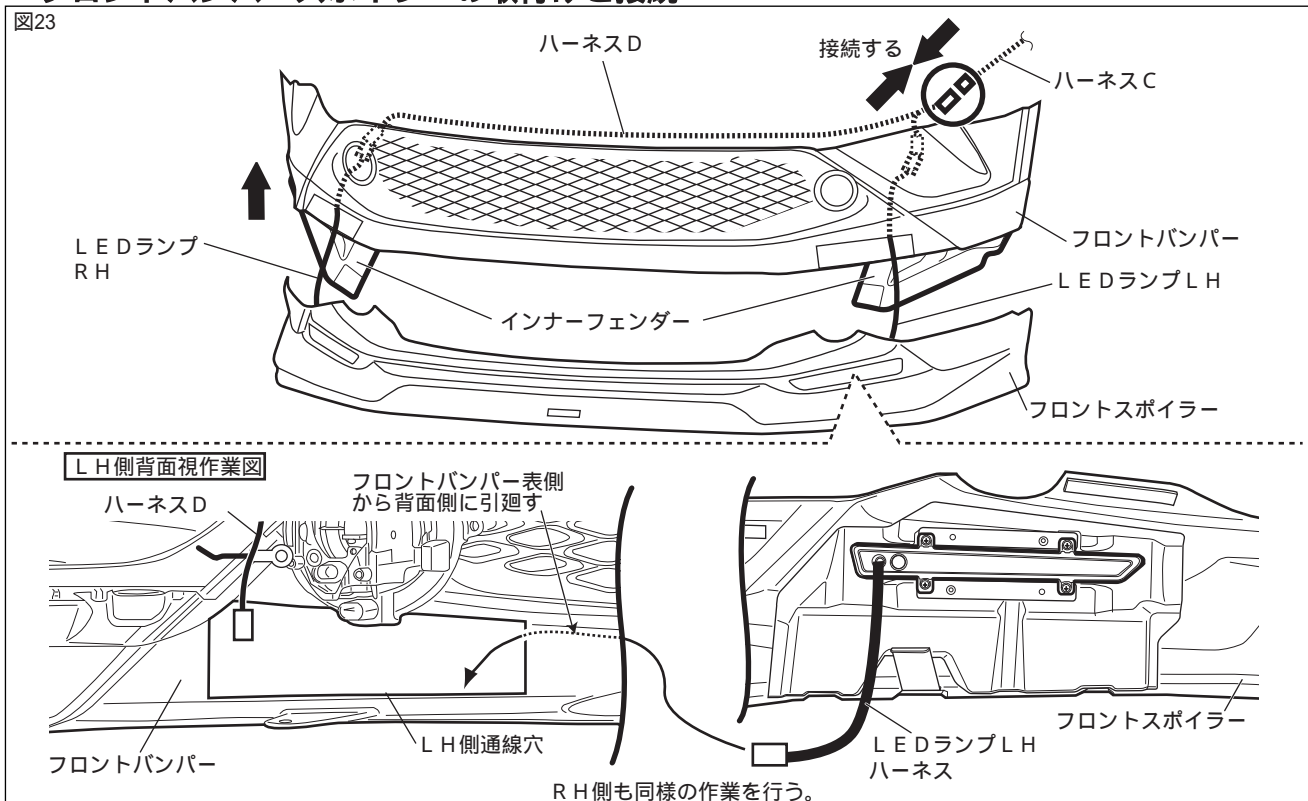
## LED デイタイムランプの組付け・配線の取り直し



1. 図22のように、LEDランプLH をフロントスポイラーのブラケットにボルト を使用して仮付けする。  
(4箇所)
2. 図22拡大図のように、フロントスポイラーとLEDランプLH の周囲の隙間が均一になるように調整し、本締めする。  
(4箇所)
3. RH側も同様の作業を行う。

フロントスポイラーの取付け・通線穴あけ加工は、フロントスポイラー取付要領書に従い、取付け作業をしてください。

## フロントバンパースポイラーの取付けと接続



1. 図23のように、インナーフェンダーを残した状態にして車両修理書に従いフロントバンパーと取り外した車両部品を復元し、ハーネスC 4PコネクターとハーネスD 4Pコネクターを接続する。

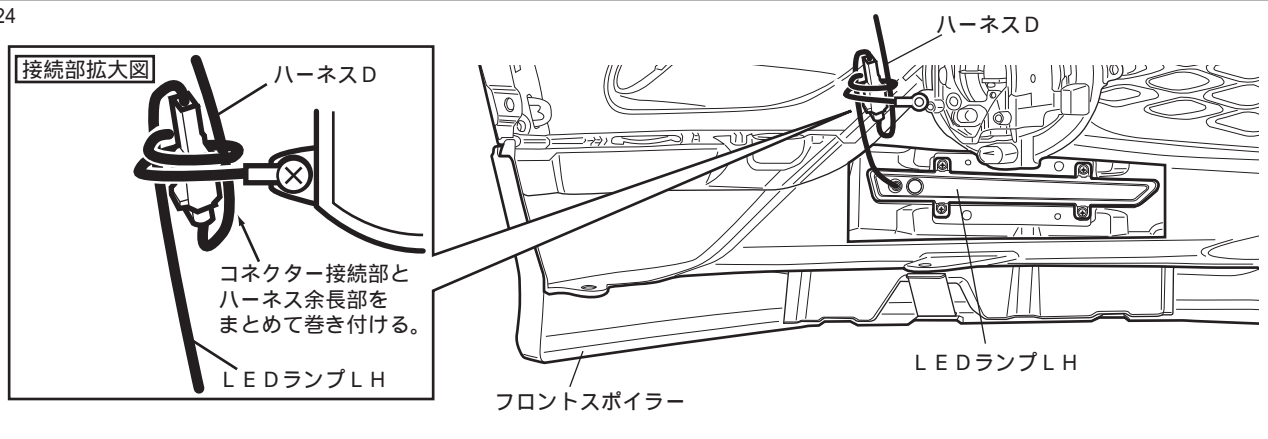
△注意：車両部品の復元時、配線のかみ込みに注意してください。

2. 図23のように、LEDランプRH・LHハーネスをフロントバンパー通線穴から通し、フロントスポイラーをフロントバンパーに組付けする。

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。



図24



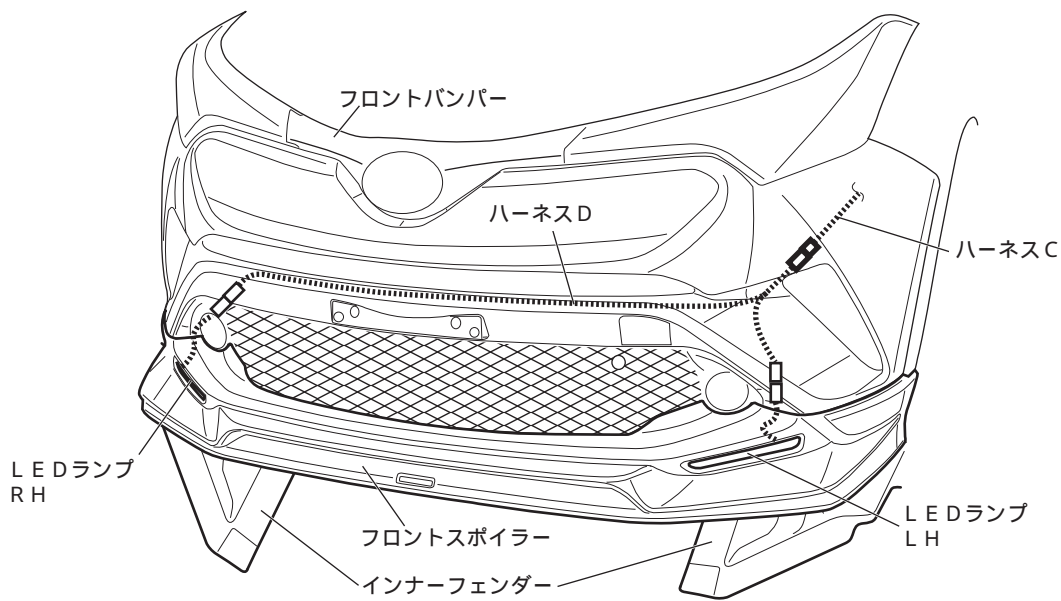
3. 図24のように、インナーフェンダー内のLEDランプLH 2PコネクタとハーネスD 2Pコネクタを接続する。(1箇所)
4. 図24のように、2Pコネクタ接続部と製品ハーネス余長部をまとめて、図19の1.で取付けたハーネスランプを巻き付け固定する。(1箇所)

△注意：製品ハーネスを束ねる際に、無理に引っ張ったり曲げたりしないように注意してください。

5. RH側も同様に行う。

### 車両部品の復元

図25



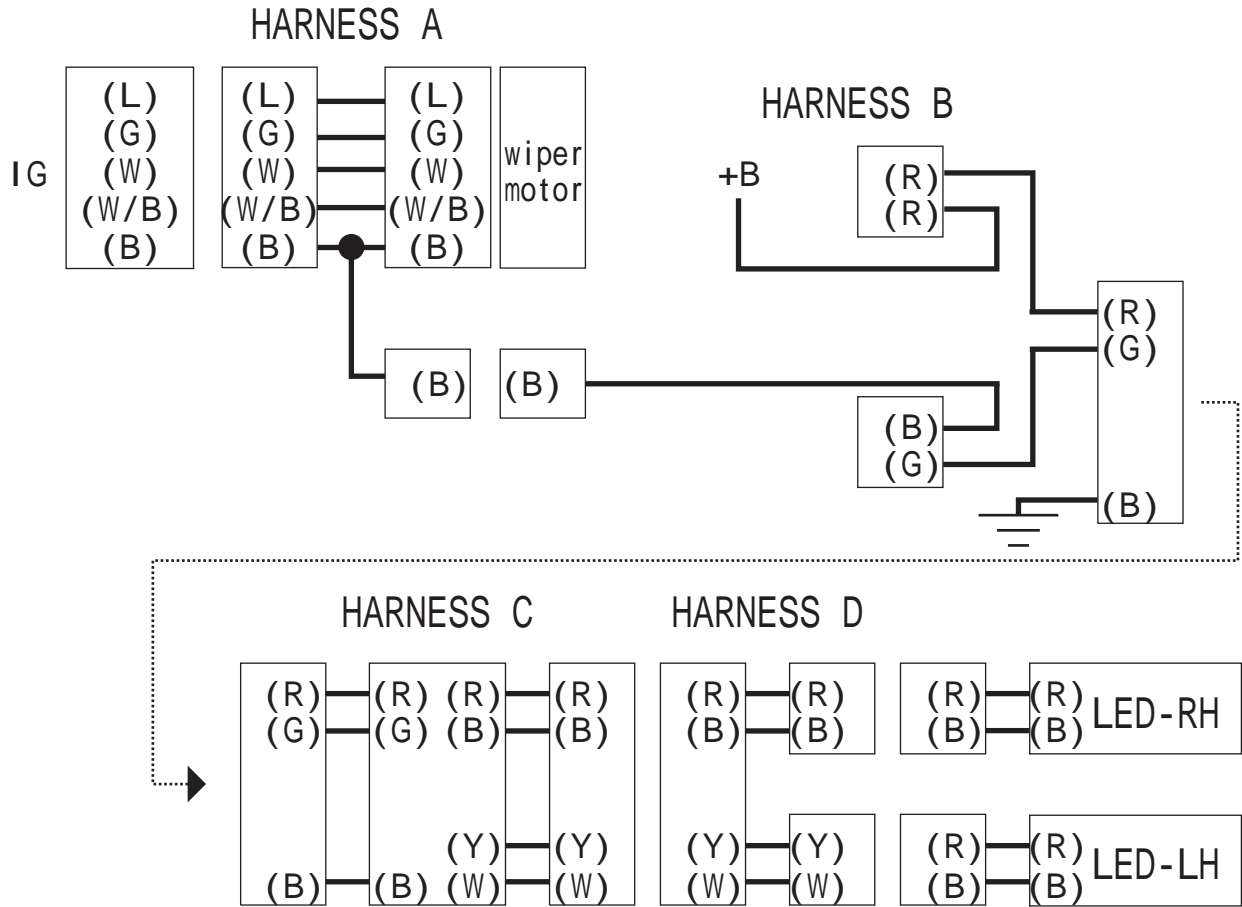
1. バッテリー⊖端子を復元する。
2. イグニッションONの状態にしてLEDランプが正常に点灯することを確認する。
3. ワイパーモーターASSYの作動確認を行う。
4. インナーフェンダーと外した全ての部品を復元する。

### 取付け完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. 製品、及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. 車両部品が修理書通り復元されているか確認する。
4. 該当車両の修理書に従い、取付けに伴い脱着した部位の調整・再設定を行ってください。

回路図(図26)

図26



ヒューズ交換する際の使用ヒューズは2 Aを厳守の事。